

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和 2 年 4 月 9 日

盛岡市議会議長

遠藤政幸様

議員氏名

小笠原 秀 夫



盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により  
令和元年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	400,000 円	
	調査研究費	363,659 円	会派視察旅費等
支出	研修費	10,000 円	市政調査会拠出金
	広報費	円	
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	373,659 円	
	差引残余 ①-②	26,341 円	

様式第5号

政務活動費出納簿

【令和元（平成31）年度分】

（単位：円）

年月日	内容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳									
				調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所費	
R1.9.10	政務活動費交付金	100,000											
R1.10.10	政務活動費交付金	300,000											
R1.11.3	会派視察(11/5~7) 視察先手土産		477	477									
R1.11.5	視察山形市市宿泊料		6,500	6,500									
R1.11.6	視察秋田市市宿泊料		8,320	8,320									
R1.11.14	視察貸切バス代		23,434	23,434									
R1.11.15	市政調査会拠出金		10,000		10,000								
R2.11.22	視察タクシー代		1,400	1,400									
R1.12.5	市政調査会視察 (11/22~26)交通宿 泊費、付随経費		202,980	202,980									
R2.2.3	会派視察(2/5~7) 視察先手土産		268	268									
R2.2.5	視察タクシー代		1,480	1,480									
R2.2.7	視察タクシー代		397	397									
R2.2.7	視察タクシー代		1,820	1,820									
R2.2.14	視察交通費、宿泊 料、企画料		116,583	116,583									
	経費小計				363,659	10,000							
	合計額	400,000	373,659	差引残余額						26,341			

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R1. 11. 3	477 円	会派視察(11/5~7) 視察先手土産	
R1. 11. 5	6,500 円	視察山形市宿泊料	
R1. 11. 6	8,320 円	視察秋田市宿泊料	
R1. 11. 14	23,434 円	視察貸切バス代	
R2. 11. 22	1,400 円	視察タクシー代	
R1. 12. 5	202,980 円	市政調査会視察(11/22~26)交通宿泊費、付随経費	
R2. 2. 3	268 円	会派視察(2/5~7) 視察先手土産	
R2. 2. 5	1,480 円	視察タクシー代	
R2. 2. 7	397 円	視察タクシー代	
R2. 2. 7	1,820 円	視察タクシー代	
R2. 2. 14	116,583 円	視察交通費、宿泊料、企画料	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	363,659 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.11.3.
支出証拠書類の額面金額			6,436 円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			27分の2
政務活動費支出金額			477 円
<p>【支払概要】 盛友会 R1.11.5~7 湯沢・山形・秋田行政視察                  視察先手土産 ※ 領収書原本は大石議員保管                  参加議員14名で案分 (3日目の秋田視察不参加の議員1名は半額計上)                  477円×13名=6,201円 238円×1名=238円 計6,439円 ※ 端数3円は大石議員から減算                  参加議員                  竹田浩久、村田芳三 (3日目不参加)、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、                  中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、小笠原秀夫</p>			
領収書等添付欄			<input type="checkbox"/> 別紙に添付

0000-9837

2019年11月 3日 曜日

領 収 証  
様

盛友会

¥6,436-

(消費税 ¥476) 軽減税率対象

但し、お支払代として  
 老舗白沢せんべい店株式会社

盛岡市紺屋町2-16  
 TEL019-622-7224

担当者



領収証No 2348

\*保管上のお願  
 財布等で保管時、印刷面を内側に折って保管願います。

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.11.5
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	6,500	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	6,500	円
【支払概要】 盛友会 R1.11.5~7 湯沢・山形・秋田行政視察 11月5日 山形市宿泊代 コンフォートホテル山形		

領収書等添付欄	□ 別紙に添付
---------	---------

**領 収 書**  
Receipt

NOG 1703817

盛友会 小笠原 秀夫 様

収入  
印紙

<b>金額</b>		百万		千	百	十	元	
				¥	6	5	0	0 ※

内消費税 ¥591-

但し 11/5~1日 宿泊代として

西暦 2019 年 11 月 5 日

上記正に領収いたしました。

11.11.05  
 領収印  
 コンフォートホテル山形

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	クレジット
<input type="checkbox"/>	クーポン
<input checked="" type="checkbox"/>	宿泊料
<input type="checkbox"/>	食事代
<input type="checkbox"/>	電話料
<input type="checkbox"/>	駐車料
<input type="checkbox"/>	会議室料
<input type="checkbox"/>	売掛金

**コンフォートホテル山形**  
〒990-0039 山形県山形市湯沢西1丁目3-12

発行店 TEL 023-615-4122  
FAX 023-615-4118

株式会社 **グリーンズ** 三重県四日市市鶴の森1-4-28 ユマニテクプラザ5階  
〒510-0074 Tel. 059-351-5593 (代)

扱  
者

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.11.6
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	8,320	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	8,320	円

【支払概要】 盛友会 R1.11.5~7 湯沢・山形・秋田行政視察  
 11月6日 秋田市宿泊代  
 ダイワロイネットホテル秋田

領収書等添付欄  別紙に添付

領 収 書 盛岡市議会 盛友会 小笠原秀夫 様

No 186972

金 額 ¥ 8 3 2 0 ※

※金額を訂正したものは無効です

但し ご宿泊代 駐車場代 その他 \_\_\_\_\_ として  
 上記の金額正に領収致しました

ダイワロイヤル株式会社  
 ダイワロイネットホテル秋田  
 〒010-0921 秋田県秋田市美町2丁目2-41  
 Tel 018-883-0500 Fax 018-883-0522

収入印紙

2019年 11月 6日

現金(¥ 8,320-) クレジット(¥ \_\_\_\_\_ )

発行者



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1. 11. 14
支出証拠書類の額面金額	320, 260 円		
支出按分率 (※按分が必要な場合)	41分の3		
政務活動費支出金額	23, 434 円		
<p>【支払概要】 盛友会 R1. 11. 5~7 湯沢・山形・秋田行政視察</p> <p>貸切バス代(319, 710円)および振込手数料(550円) ※ 領収書原本は大石議員保管</p> <p>参加議員14名で案分 (3日目の秋田視察不参加の議員1名は3分の2を計上)</p> <p>23, 434円×13名=304, 642円 15, 622円×1名=15, 622円 計320, 264円</p> <p>参加議員 ※ 端数4円は大石議員から減算</p> <p>竹田浩久、村田芳三 (3日目不参加)、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、小笠原秀夫</p>			
領収書等添付欄		<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付	





領 収 証

盛友会 様

No. 056630

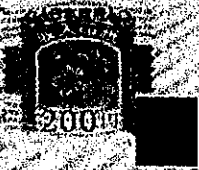
2019年 11月 19日

¥ 319,710

(現金) (振込) 小切手 手形 (クレジット)

種別	目	運行(発生)年月日	行先(又は品名)	内 容
	貸切バス代	RT-11.5-7	山形 秋田	

上記金額正に領収致しました。



岩手県盛岡市厨川1-17-1  
岩手県北自動車株式会社  
盛岡営業所所長 八木 澤



※金額訂正又は振替印なきものは無効

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

預金払戻請求書 による 振込受付書 (兼振込手数料受取書)  
預金口座振替  
※預金払戻請求書・口座振替により受付した場合、表題欄に○を表示します。

2019年 11月 19日

お振込先  
フリカナ  
イ7下ケニボ7ジドウシヤ  
カ7シキガイシヤ

お受取人  
フリカナ  
モリオカシキガイセイゴウ  
カイ

おてんわ  
0196138315

おなまえ  
盛岡市議会盛友会 様

振込先  
本店 支店

振込金額  
7064105  
4319710

手数料(別表別込) 円  
550

〈きたぎん〉をご利用くださりまして、  
ありがとうございました。  
今後ともよろしくお願い申し上げます。

お振込みは早くて便利なATMを  
ご利用ください。手数料がお得です。

お住所  
盛岡市内丸12-2

注意

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会時のため振込が遅延したり、振込ができないことがあります。
- やむをえない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。
- この振込金受取書は、ご依頼人が大切に保管してください。

北日本銀行  
着町支店 店



## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

会派名	盛友会
実施日	令和元年11月5日(火)
参加者	小笠原秀夫、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、計14名
視察先および調査項目	秋田県湯沢市 ・ゆざわ発新しい働き方推進事業について ・温泉熱や地熱温水の利活用事業について
視察の概要および所感	<b>【視察概要】</b> 1. ゆざわ発新しい働き方推進事業について クラウドソーシングの導入支援事業を展開。 2. 温泉熱や地熱温水の利活用事業について (1) 地熱利用農産加工所 … 地熱水による農産物乾燥・加工施設 (2) 地熱温水利用温室 … 地熱を活用した周年農業実証施設  <b>【所感】</b> 働き方推進事業については、多額の税金を投入して行われた事業であったが、得られた効果については疑問が残るものであったと言わざるを得ない。このような事業の際には綿密な市場調査、市民のニーズ調査等が行われ、さらに計画の実施後も定期的に効果の測定や見直しを行わなければならないと思いました。 温泉熱や地熱温水の利活用事業についても、実証によって得られた結果を十二分に研究・活用し、市民の所得向上や生産性の向上につなげられるよう努力されなければならないと強く感じました。
<b>【添付資料】</b>	参加者により共同作成した報告書

## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

会派名	盛友会
実施日	令和元年11月6日(水)
参加者	小笠原秀夫、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、 後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、 田山俊悦、大石仁雄、計14名
視察先および 調査項目	山形県山形市 ・旅籠町にぎわい拠点「gura」について
視察の概要 および所感	<p>【視察概要】</p> <p>1. 山形中心市街地活性化の取組み 紅の蔵、山形まなび館、七日町御殿堰などの新設や、とんがりビル、guraなどのリノベーション物件による活性化事業を展開。</p> <p>2. 旅籠町にぎわい拠点「gura」 市所有地に立地の建造物をリノベーションして、商業施設を展開。</p> <p>【所感】</p> <p>山形市の中心市街地の活性化のために、民間の活力を活用しようとする取り組みである。事業の中心は事業者任せにより市の関与を最小限にし、民間のアイデア、活力を最大限に活用していると感じた。盛岡市としても民間と連携し、中心市街地の活性化、賑わいの創出のために参考とすべき点が多くあると感じました。</p> <p>しかし、民間に頼りすぎると、事業者の負担も大きくなるので、適切な関与と支援も重要であるが、そこら辺の市民理解も得られるように情報の発信も非常に大切であると思いました。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視 察 等 概 要 書

議員氏名 小笠原秀夫

会派名	盛友会
実施日	令和元年11月7日(木)
参加者	小笠原秀夫、竹田浩久、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、計13名
視察先および調査項目	秋田県秋田市 ・秋田市役所新庁舎建設事業について
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>視察項目 秋田市役所新庁舎施設見学</li><li>ヒアリング<ol style="list-style-type: none"><li>庁舎建設の経緯説明</li><li>市庁舎建設のコンセプト 市民サービス向上、防災拠点としての位置づけ、地域性の創出環境との共生、今ある資産の有効活用</li></ol></li></ol> <p>【所感】</p> <p>盛岡市役所も老朽化が進んでおり、近い将来建て替えは避けることができないものであります。そういったことを踏まえて、秋田市役所の建て替えはとても参考になりました。</p> <p>特に、災害時の防災拠点となる災害対策本部機能は、近年増加する自然災害対策において、非常に重要な機能であると思われます。</p> <p>盛岡市も一刻も早く、庁舎の建替の計画を策定すべきと思いました。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視 察 等 概 要 書

議員氏名 小笠原秀夫

会派名	盛友会
実施日	令和元年11月7日(木)
参加者	小笠原秀夫、竹田浩久、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、計13名
視察先および調査項目	秋田県秋田市 ・秋田市総合環境センターについて
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b></p> <p>1. 視察項目 秋田市内のごみの処理全般についてヒアリング</p> <p>2. 視察内容</p> <p>(1) ビデオにて総合環境センター概要説明</p> <p>(2) 現地見学視察 プラットホーム、中央管制室(ごみピット)、溶融炉、発電施設</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>秋田市環境総合センターは盛岡市クリーンセンターのストーカ方式とは異なる溶融炉方式を採用している。この方式は高温で処理されるため、ダイオキシンなどの有害物質が発生しにくいというえに、残渣も少ない。また、近隣には住宅地もあるが特に苦情などの問題もないとのことである。盛岡市のクリーンセンターの更新においてもこれらのことを十分に検討しなければならないと感じました。</p>
<b>【添付資料】</b>	参加者により共同作成した報告書

## 視察報告書

文責 小笠原秀夫

- ① 日時 令和元年11月5日
- ② 秋田県湯沢市 湯沢市役所
- ③ 視察項目 ・ゆざわ発新しい働き方推進事業について  
・温泉熱や地熱温水の利活用事業について
- ④ 対応者 湯沢市議会 佐藤功平 議長  
湯沢市産業振興部 商工課長 高橋優功氏  
湯沢市産業振興部 農林課農業振興班長 ■■■■■氏

### ⑤ 概要

#### (1) ゆざわ発新しい働き方推進事業について

専門性の高い人材育成・多様な就労機会の創出・市民所得の向上を目的として、平成27年度から平成30年度まで本事業を実施した。

総事業費は179,651,240円、財源は地方創生先行型交付金102,029,000円、過疎地域等自立活性化交付金10,000,000円、一般財源から約6,700万円となっている。

事業内容として、クラウドソーシングの導入支援事業を主催した。

クラウドソーシング普及啓発・ワーカー育成・ワーカースキルアップ・ワーカーコミュニティ支援等を行った結果、実績として育成ワーカー148人、うち実際にクラウドソーシングを活用したワーカー123人、うち継続的にクラウドソーシングを活用しているワーカー38人となっている。

#### ・事業の効果

- ① 専門性の高い人材の育成・・・効果がなかった
- ② 多様な就労機会の創出・・・ある程度の効果があった
- ③ 市民の所得向上・・・効果がなかった

#### ・質疑

Q：育成ワーカー148人、活用したワーカー123人、継続的に活動しているワーカー38人と減っているが要因は何か？

A：地域性もあるだろうし、もともとクラウドソーシングは独自にできるものなので、この事業がなくてもやっている人がいるのだろう。

Q：発注する事業者や仕事内容については？

A：継続しては発注する事業者は7社、仕事内容は文字おこしなど簡単な作業が多い。

Q：目標設定はどうだったか？議会の評価はどうだったか？

A：セミナーを受けた人のうち実際に活用した人の目標を60%と設定

したが、148人中123人と行くことでこれは達成した。継続的に活用する人数を35%に設定したが38人/148人で達成できなかった。議会からの評価はこの事業については直接なかった。

Q：発注者と受注者間において品質等の面でトラブルはなかったか？

A：支援事業者がワーカーのスキルに応じて仕事を紹介し、成果物についても最終チェックを行ったため、大きなトラブルはなかった。

Q：委託事業者は地元事業者か？

A：最初の3年間は佃パソナテックで最後の1年は山形に本社を置き、湯沢市内にオフィスを持つTソリューションズ㈱であった。

Q：この事業を始めたきっかけは？

A：国の地方創生政策・補助金に、当時の副市長が意欲を示した。

Q：継続的に活用している38人の動向は？

A：安定的に稼いでいる人は少ない。稼げている人はもともとスキルのある人だった。

## (2) 温泉熱や地熱温水の利活用事業について

### ① 湯沢市皆瀬地熱利用農産加工所

産地間競争に打ち勝つ農産物を地熱水により乾燥・加工等を行い、経営基盤の確立と市場の確保を図る目的で行われている。

昭和55年12月に竣工し、事業費は国庫補助金30,202千円、旧皆瀬村負担33,856千円、計64,058千円。運営は皆瀬農産加工所利用組合が行っており、平成23年度からは指定管理制度が導入されている。

利用組合はもともとあった複数の農家の女性グループと施設利用者を再編し、地域における域外の場としても重要なものとなっている。

主な加工物は「切り干し大根」等で道の駅などで販売されている。

加工所の利用率は約90%で切り干し大根の時期である冬場の利用が多い。

### ② 湯沢市皆瀬地熱温水利用温室

昭和60年3月に竣工し、事業費は135,000千円で皆瀬村農協が主体。国費は二分の一。栽培作物はみつば・小ネギ・トマト。

ローソンと共同で平成26年度から平成29年度まで「地熱活用低コスト型周年農業実証を実施した。

実証の結果、ハウス内の気温、地温とも温度差が大きく、特に冬場は効果がみられる。しかし初期費用が高額となるため、他の手段と比較しての有効性には疑問が残る結果となった。

トマト以外にもパクチー・ミント・クレソン・バジル・サンチュ・ほうれん草・春菊など、試験栽培を行ったが、冬期間の日照不足やハウス内温度の調整の困難さ、流通コストの負担の大きさなど、課題が多い。

質疑

Q：トマトの味の評価は？

A：悪くはないが高い評価でもなかった。

Q：収穫量と出荷量のギャップが大きい要因は？

A：収穫量に対して販売先・需要が少なかった。冬季の生産実証だったので、販売先まで考慮していなかった。

等々

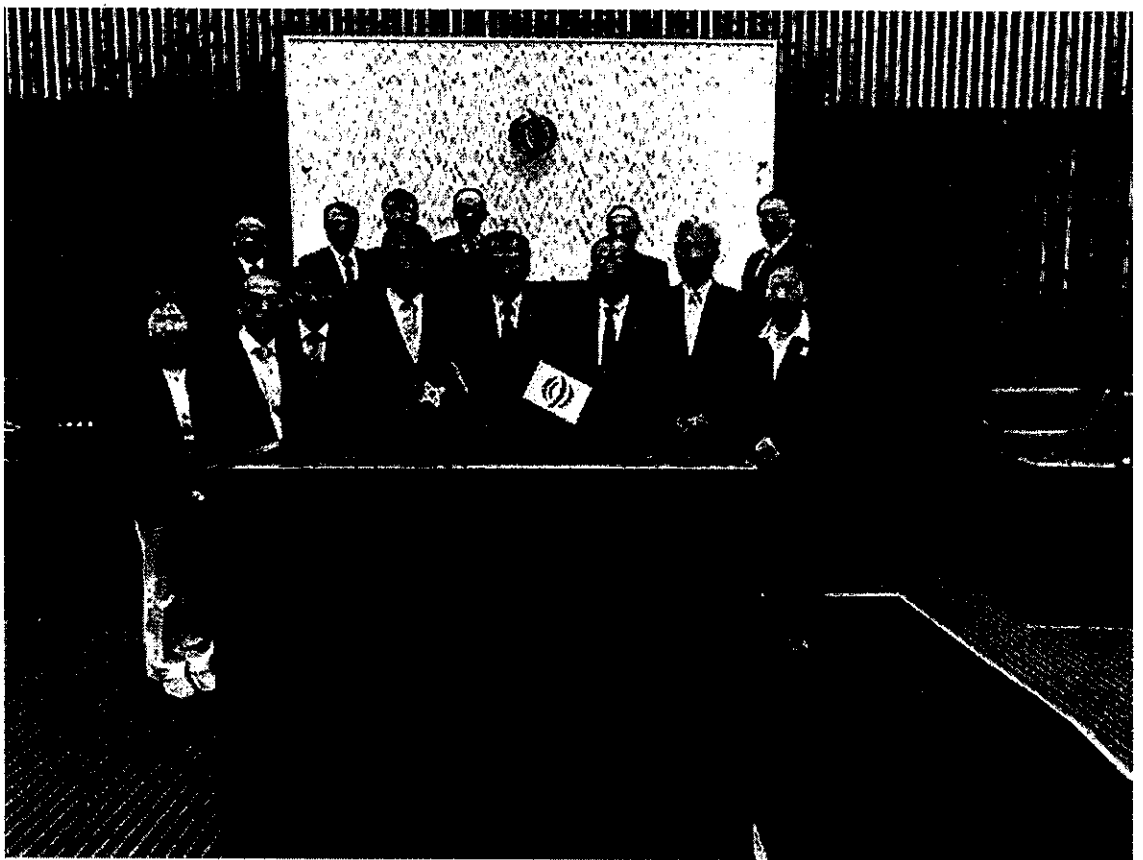
### (3) まとめ

働き方推進事業については、多額の税金を投入して行われた事業であったが、得られた効果については疑問が残るものであったと言わざるを得ない。

このような事業の際には綿密な市場調査、市民のニーズ調査等が行われ、さらに計画の実施後も定期的に効果の測定や見直しを行わなければならないと思いました。

温泉熱や地熱温水の利活用事業についても、実証によって得られた結果を十二分に研究・活用し、市民の所得向上や生産性の向上につなげられるよう努力されなければならないと強く感じました。





## 山形市視察報告書

1. 日時 ・ 令和元年 11 月 6 日 (水) 10:30~12:30
2. 場所 ・ 旅籠町にぎわい拠点「gura」(ぐら)
3. 視察項目 ・ 山形中心市街地活性化の取組みについて  
・ 旅籠町にぎわい拠点「gura」による地域活性化について
4. 対応者 ・ 山形市商工観光部山形ブランド推進課  
主幹 街なか・商業グループリーダー 池野 晃央氏  
・ 株式会社旅籠町開発 代表取締役 後藤 寛典氏

### 5. 視察内容

(1) 山形中心市街地活性化の取組み … 山形市ブランド推進課 池野晃央氏

#### ①山形市の特徴

- ・ 人口 249,743 人、面積 381.58 km<sup>2</sup>、明治 22 年市制施行 (130 周年)
- ・ 山形市は、最上川の舟運により発達した蔵の街。中心市街地を流れる 5 つの堰が特徴である。
- ・ やまがた舞子が市内 4 カ所の料亭を中心にお座敷を彩っている。

#### ②課題

- ・ 市内の北部、南部に、イオンやコストコといった大型店が立地しているほか、仙台まで約 60 km (車で約 1 時間) と近接し、1 日に約 80 往復の高速バスが走っていることもあり、中心市街地の空洞化が深刻である。



#### ③中心市街地活性化基本計画による取組み

- ・ 第 1 期 (平成 20 年 11 月~26 年 10 月)  
山形まるごと館「紅の蔵」、山形まなび館、七日町御殿堰、という 3 つの新名所づくりを中心に、活性化を図った
- ・ 第 2 期 (平成 26 年 11 月~令和 2 年 3 月)  
「歴史や文化を活かした、山形の魅力あふれるまちづくり」をテーマに、とんがりビルや gura などのリノベーション物件による活性化や、街なか出店サポート事業、街なか情報発信事業を展開している。



(2) 旅籠町にぎわい拠点「gura」 … (株)旅籠町開発 後藤 寛典氏

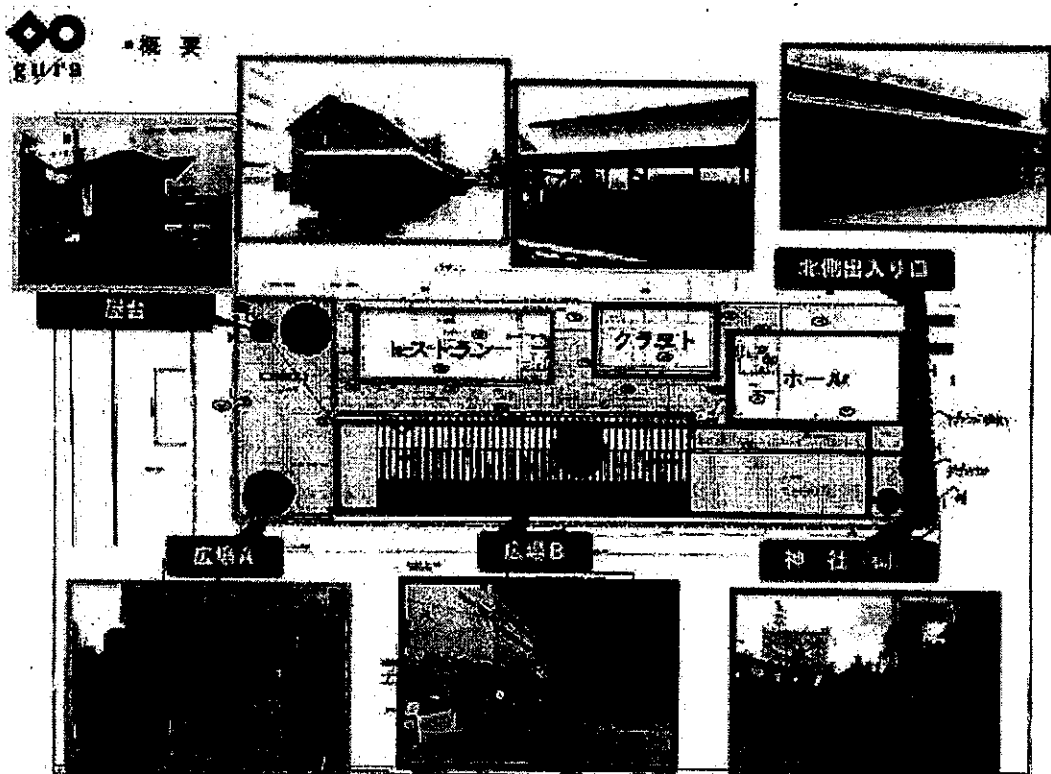
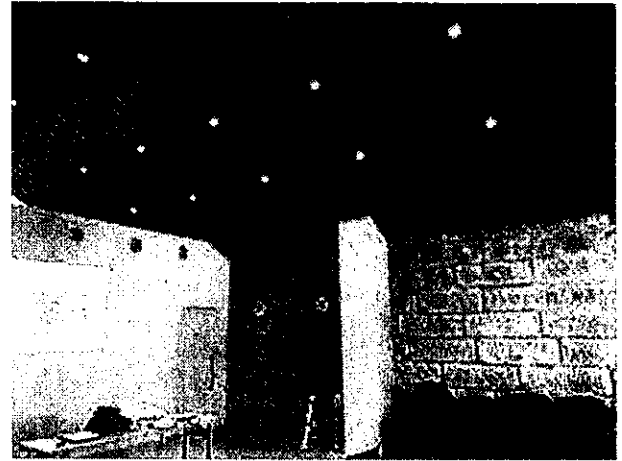
①施設概要

- ・平成 29 年にプロジェクトがスタートし、30 年 3 月にオープン。
- ・市所有地に立地している石造りの建造物をリノベーションして、商業施設を展開。敷地の公園スペースと相俟って、街なかの活動空間、癒し空間を創出している。
- ・事業は、レストラン、クラフトストア、貸しホール・広場を運営。マルシェ・フリーマーケット・移動販売・ウェディングなど、多様なイベントで利用されている。



②こだわり

- ・マネジメントは、山形建設(株)、山形パナソニック(株)から集結。プロジェクトには、建設、デザイン、クラフト、企画、マネジメントなど、各専門分野のクリエイターの協力によりプロデュース。
- ・レストランの食材は地元産品が中心。山形県内農家と提携し、付加価値の高い料理を提供している。
- ・クラフトストアは、山形の伝統工芸品、日用品に伝統工芸の技術を取り入れた商品などを展示販売しているほか、来店客向けのワークショップも行っている。



- ・貸しホールは、石蔵の重厚感のある雰囲気を残しており、各種イベントに活用されている。

## (2) 質疑応答

### 【中心市街地】

- Q：中心市街地のゾーニング、グランドデザインについては、具体的に市民にもわかりやすいマップ等で示されているか。
- A：市のHPに公開し、わかりやすく表現している。ほか、エリアマネジメントを行い、新規出店等の際には、街のゾーニングに基づき、出店業種に即して、ふさわしい出店場所の誘導を行っている。
- Q：老舗百貨店大沼についての影響は。
- A：ファンド会社の経営不振に影響された面はあったものの、催事を行うと、相応の集客が確保できている。
- Q：中心市街地の活性化計画の成果指標である、歩行者・自転車通行量、街なか観光客入込数を、どのように把握しているか。
- A：歩行者・自転車通行量は、とある土・日に実測し、その2日間の平均値を算出している。街なか観光客入込数は、主な商業施設のレジ打込件数や、観光施設の入場者数を基礎データとして算出している。
- Q：ふるさと納税は、地元経済に寄与しているか。
- A：ふるさと納税の返礼品としては、地元の大沼経由のものがそれほど多くなく、寄与度は低いものと認識している。
- Q：街なかイベント開催に関し、工夫していることは。
- A：山形エリアマネジメント協議会を設立し、街なかイベントを同日、同時期に開催するよう調整を行っている。近年の道路改修により、歩行者天国にしやすい道路網が整った。

### 【g u r a】

- Q：市からの土地賃貸料は
- A：いわゆる使用貸借であり、無料である。
- Q：各クリエイターは、どういった場面で関与しているか。
- A：東北芸術工科大学（本部：山形市）とアドバイザー契約を締結し、同大学の橋渡しにより、各専門分野のクリエイターを集結させた。その多くはイニシャル契約（立ち上げまでの場面）であるが、ブランディングを担っている土屋勇太氏のみ、ランニング契約を交わし、都度都度関与してもらっている。
- Q：貸しホール・広場の利用料は
- A：多目的ホールは平日 1,000 円/h、土日 2,000 円/h、広場は1日 100 千円。ほか、機材貸出料を別途設定している。
- Q：広報PRはどのように行っているか
- A：雑誌等のメディアも若干活用しているが、インスタグラム、LINE、フェイスブックなどのSNSによる発信を中心に行っている。

Q：施設の名称、ロゴマークの意味は。

A：蔵を活用していることから、グラ。  
グラッと心を揺さぶる、という意味も含めている。ロゴマークは、蔵の文様をモチーフとしている。

Q：レストランのメインターゲットをどのように設定しているか。

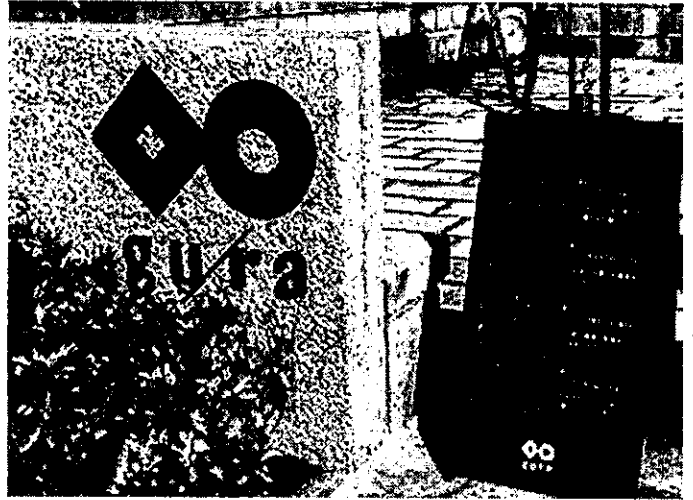
A：昼食タイムは、もともとビジネス層を狙っていたが、結果的に女性層が圧倒的である。夜は、地元のビジネス層が多く、宴会などでも利用されている。

Q：雪対策はどのように行っているか

A：雪についてはそのまま、自然対応。子どもたちが喜ぶほか、インバウンド対応としても有効である。

Q：山形市は、この事業にどのように関わっているか。

A：市は地主であるものの、事業展開は事業者に任せている。むしろ、市の行事でも活用してもらっている「ユーザー」である。

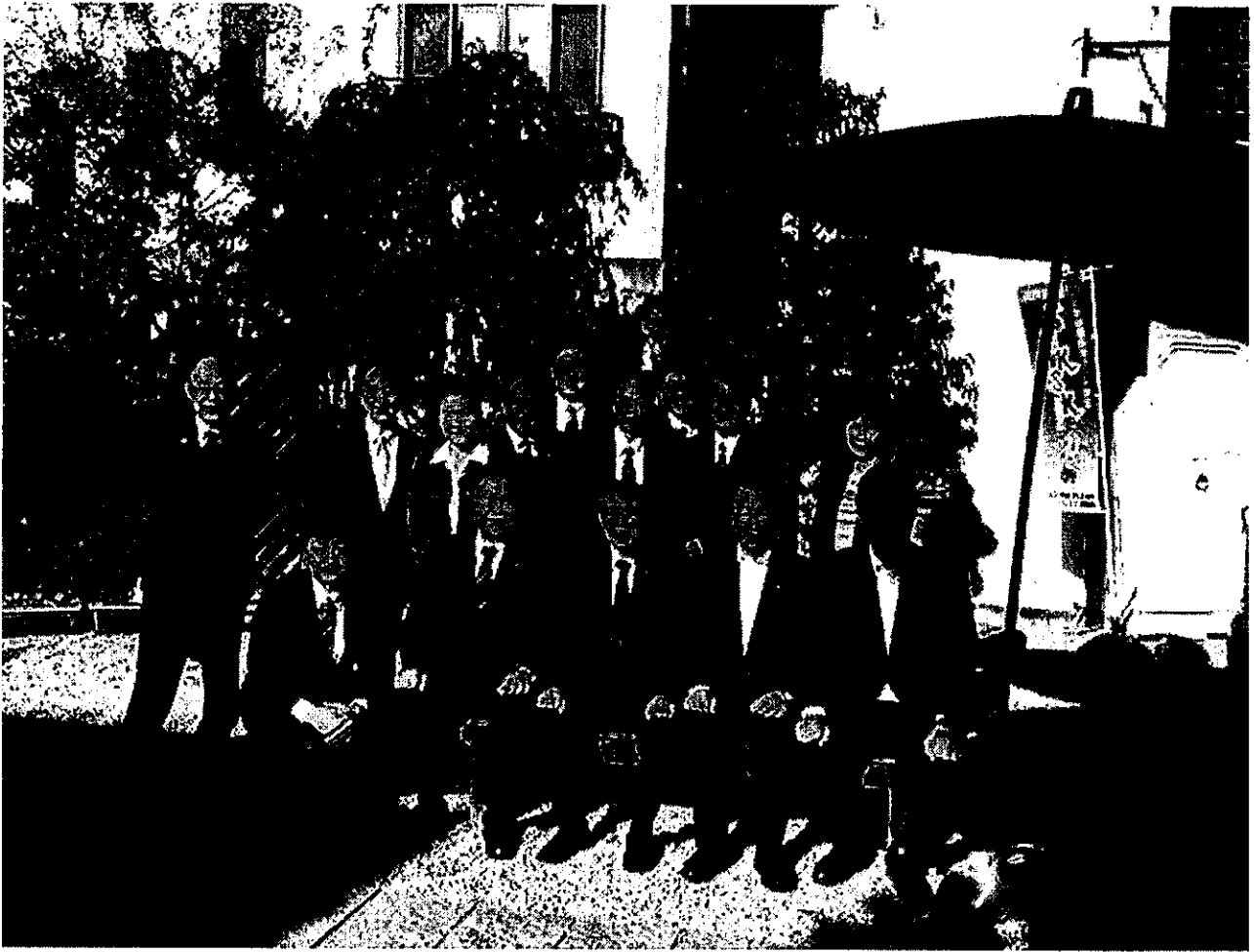


### (3) まとめ

山形市の商業環境は、大型店が近接し、かつ仙台との往復も便利であることから、市街地の空洞化に対する危機意識が強い。これに対し、地元の歴史や文化、伝統を活かした街づくりを行っているという点では、盛岡と共通しているが、決定的に異なるのは、エリアマネジメントが確立しているということである。中心市街地エリアにおけるゾーンの性格付けを明示しながら、エリアマネージャーが緩やかに業種誘導を行うなかで、ゾーン別の個性を最大限に発揮させながら、中心市街地の魅力を創出させようという姿勢が明確になっている。

また、リノベーションによる活性化についても取組みを推進しており、元々の地元の財産を壊すことなく、これを街の個性としてどのように発信するか、という点も工夫しているほか、必要な場面にはその道のプロにも関与してもらいながら、街の魅力に磨きをかけているという様子が窺える。

盛岡の中心市街地においても、民間の活力をいかに有効に活用するか、リノベーション等による、既存の財産を活かすまちづくりをどのように進めるかを、さらに推進していく時期ではないか。そして、エリアマネジメントの考え方を導入し、エリアの個性を発揮させ、それぞれが連携するなかで、街の総合力を発信していくことも必要と感じたところであった。



## 秋田市①視察 報告

視察日：令和元年 11 月 7 日（木）10：00～11：50

視察先：秋田市役所（秋田市山王一丁目 1-1）

秋田市議会事務局議事課 関課長から挨拶

同 議事課調査担当 ■■■主査 対応

秋田市総務部財産管理活用課 ■■■主査、■■■主査 から説明

視察内容：新庁舎建設事業について

秋田市：人口 305,944 人、世帯数 135,822 世帯（H31.4.1 現在）

H9.4 中核市移行、H17.1 河辺町、雄和町と合併

説明内容：

旧庁舎 - 昭和 39 年建設

新庁舎整備検討

- ・昭和 63 年秋田市庁舎建設準備委員会設置（庁舎狭隘化解消のため）
- ・平成 3 年庁舎建設基金条例を設定

第二庁舎案検討（H4、H5）→新庁舎建設検討（H6～H10）→新庁舎建設方針の見直しを表明（H11、厳しい財政事情を勘案）

現庁舎における来庁市民の利便性向上対策（H12、H13）→現庁舎の延命化対策（H13～H17）→建設の具体的検討（H20）→庁舎建設計画の再検討（H21）※市民 100 人会および公募により庁舎整備の方向性に関する意見を募集（66 件）→庁舎整備方針の決定（H22）6 月議会で市長が新庁舎建設を表明、基本構想の策定→庁舎建設設計（H23、H24）→建設工事の入札（H25）3 回の入札を経て 115 億 9,000 万円で落札→建設工事（H25～H28）→準備移転（H28）→旧庁舎解体（H27～H29）

事業費

庁舎建設事業費	財源内容
本体工事・関連工事 約 137 億円	社会資本整備総合交付金 約 4 億円
備品・移転費用等 約 9 億円	庁舎建設基金（H3～積立）約 81 億円
	合併特例債（H17 2 町と）約 53 億円
	一般財源 約 8 億円
計 約 146 億円	計 約 146 億円

新庁舎 5 つのコンセプト

- 1 市民に親しまれ、市民サービスの向上を表現する、人にやさしい庁舎  
⇒①1,2 階に窓口を集約、利便性の向上を目指す。②外部にあった農林部、環境部を集約した。③市民が利用する貸出施設、子育て交流ひろばなど

2 防災拠点施設となる、安全・安心な庁舎

⇒①災害対策本部機能（大型モニター、専用通信機器類を設置した災害対策本部室、非常用食料等の備蓄）②避難所機能

3 環境共生へ取り組む、地球にやさしい庁舎

⇒①6階までの吹抜け空間を利用した自然採光、②太陽光や地中熱など再生可能エネルギーの活用

4 秋田の地域性を生かし、周辺環境と調和した庁舎

⇒秋田杉の活用

5 今ある資産を活用し、長く使い続けられる庁舎

主な質疑

Q 新庁舎移転に伴う土地代はかかっているか

A 秋田市の土地であり、土地代はかかっている

Q 基金について、平成3年から積み立てをしているが年間4億円程度か

A その年によって異なることもあったが、約20年で81億円である

Q 合併特例債53億活用しているが、新庁舎建設に対し1/6の費用が使われることに議会の反対は無かったか

A 庁舎建設に先立ち、秋田市7地域にサービスセンター化することにし、特例債が活用された。その延長として市民が集う場の一つとして新庁舎建設が進められ議会からの反対は無かった。

Q 太陽光発電はどの様に活用しているか

A 庁舎の一部に活用、災害時の停電に対応することとし、災害対策本部室、中央サービスセンターに優先的に使用することになっている。

説明、質疑の後、庁舎内を見学した。

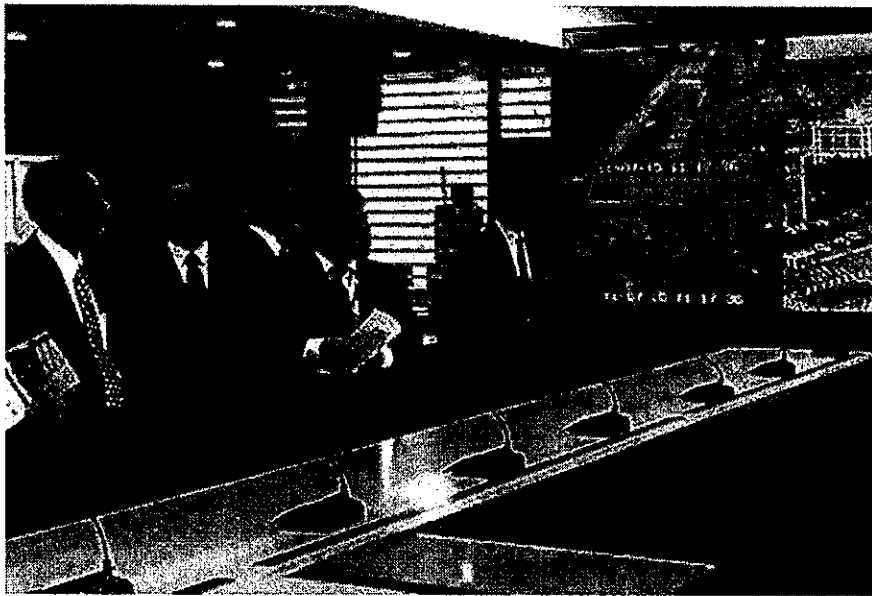
秋田市財産管理活用課担当者から説明



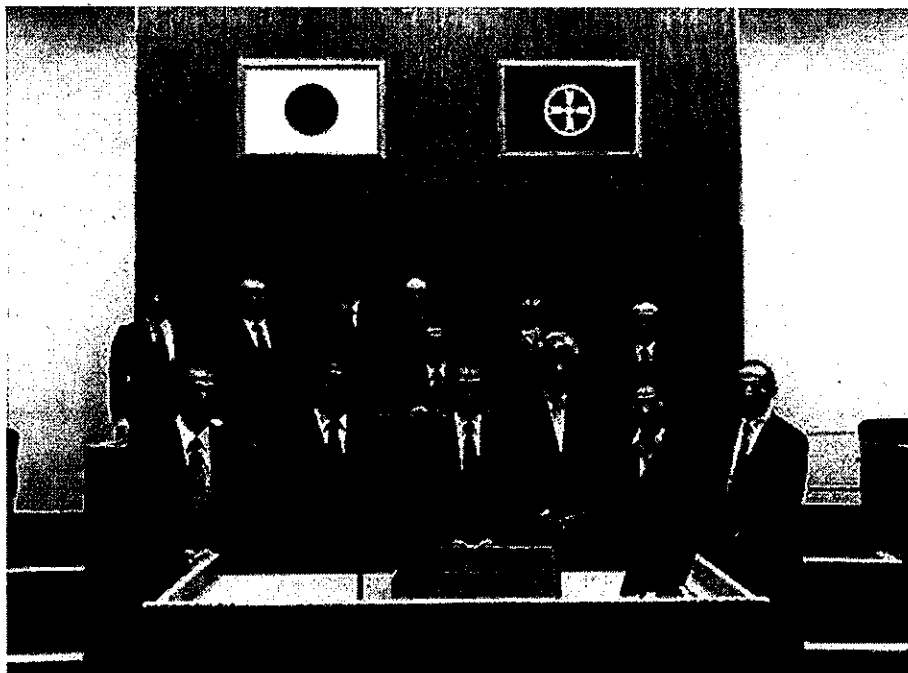




吹抜きの庁舎内部を見学



防災対策本部室



## 視察報告書

報告者 工藤健一

- 1 日時 令和元年11月7日(木) 13:30~15:30
- 2 場所 秋田市総合環境センター(秋田市河辺豊成字虚空蔵大台滝1-1)
- 3 対応者 秋田市環境部総合環境センター所長 中島芳美  
// 管理担当参事 長谷川洋一  
// 参事 水戸瀬敏之
- 4 視察項目 秋田市内のごみの処理全般について
- 5 視察内容
  - (1) ビデオにて総合環境センター概要説明される
  - (2) 現地見学視察  
プラットホーム、中央管制室(ごみピット)、熔融炉、発電施設
  - (3) 施設概要  
シャフト炉式ガス化熔融炉は、ガス化・高温熔融一体型の炉で多様なごみを確実に処理、資源に再生。

### ○熔融施設



敷地面積：432,000 平方メートル

着工：平成10年9月

竣工：平成14年3月

処理方式；シャフト炉式ガス化熔融

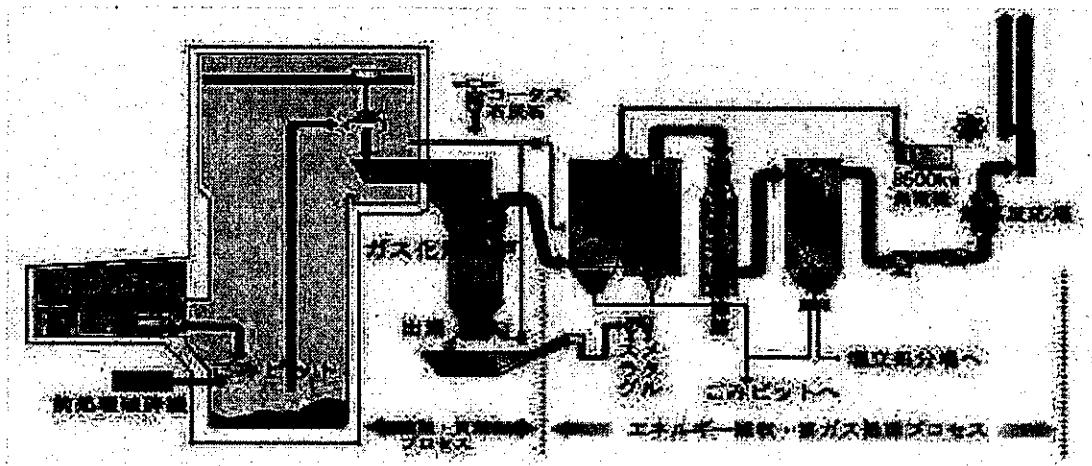
総事業費：204億6,000万円

ピット・アンド・クレーン方式

ピット容量：9,200 立法メートル

- ・処理能力：24時間につき230トンX2炉(平成23年度に能力増強工事完了)
- ・燃焼設備 旋回燃焼方式、
- ・燃焼ガス冷却設備 自然循環式廃熱ボイラー  
蒸気条件：常用4メガパスカル、摂氏400度
- ・排ガス処理設備 ろ過式集じん器(ばいじん除去、脱HCl、脱SOx)触媒方式(脱NOx、脱ダイオキシン)
- ・余熱利用設備 蒸気タービン発電 定格8,500キロワット
- ・通風設備 平衡通風方式
- ・熔融物処理設備 水砕・磁選・ホッパ方式

・処理の流れ



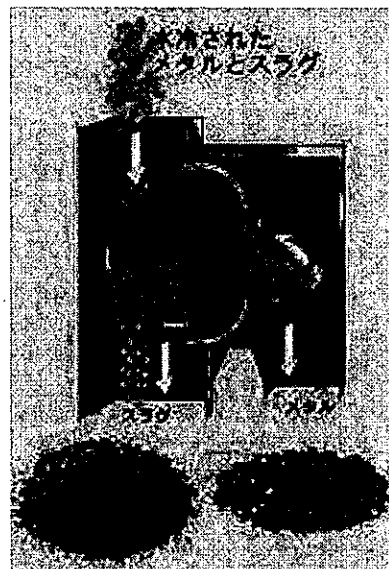
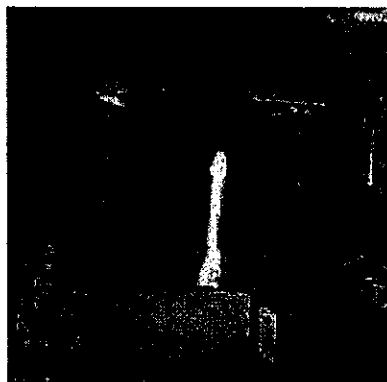
・多様なごみの一括処理

汚泥、焼却施設からの残渣等も含めて、多様なごみを安定して熔融します。炉内の各温度帯が、ごみの性状に合わせてフレキシブルに機能し、ごみ質の変動に左右されない。



熔融炉の中で 1,700~1,800 度の高い温度で溶かして処理される。

ごみは無害なスラグとメタルになり、資源として生まれ変わります。



水で冷やされて無害なスラグとメタルになり、磁選機に送られます。

磁選機によってスラグとメタルに分けられ、それぞれが資源化されます。

熔融炉から出てきたガスは、燃焼室で完全燃焼され、約 850 度~950 度のガスとなり、熱エネルギーを回収するためにボイラーに送られます。

溶融炉は全連続運転で高温状態を保つと共に、石灰石が有害成分を中和するため、ダイオキシン類が元来発生しにくいシステムとなっている。さらに後段の独立型燃焼室での最適な燃焼制御や、ろ過式集じん器、触媒反応塔の設置など万全の環境対策を行っている。

燃焼室から送られた高温ガスの熱エネルギーはボイラーで回収され、高温高圧の蒸気を作り、タービン発電機に送られる。

ボイラーから送られた蒸気でタービンを回転させ発電する。

排ガスの中に消石灰を混ぜて硫黄酸化物 (SOx) と塩化水素 (HCl) を無害化し、フィルターを通すことによりばいじんと一緒に取り除きます。

排ガスの中にアンモニアガスを混ぜて、触媒層を通すことによって窒素酸化物 (NOx) を無害な窒素と水に分解する。ダイオキシンもここで分解される。

### ○リサイクルプラザ



#### 見学箇所

- ・展示ホール (ペットボトルコーナー)
- ・展示ホール (古紙コーナー)
- ・展示ホール (びんコーナー)
- ・展示ホール (缶コーナー)

秋田市から分別収集された空きびん、空き缶、ペットボトル、使用済み筒型乾電池を種別別に再資源化するための中間処理施設である。

#### ・処理能力

びん処理設備 : 5 時間につき 36 トン

缶・乾電池処理設備 : 5 時間につき 28 トン

ペットボトル処理設備 : 5 時間につき 10 トン

#### (4) 質 疑

Q 団地と本施設との建設時期はどうであったか

A 古くから本地区はゴミの埋め立て地があったり焼却炉があった。団地は、ずっとあとから建設されたので、新住民の苦情みたいなものはない。

Q コークスはどこから購入しているのか

A 現在は中国で、入札により購入している。

Q ランニングコスト高くはないか

A ストーカ炉に比べ若干高いが最終処分場がストーカ炉に比べ5倍くらい延命化されるので、トータルコストは安くなる。

Q 地元とはうまくいってるか

A 特に問題はない。

Q 3Rはうまくいっているのか

A リサイクルセンター中心に進めている。また、市民センターに小家電回収箱を置いて啓蒙を図ったりしている。

Q 地域還元施設はあるのか

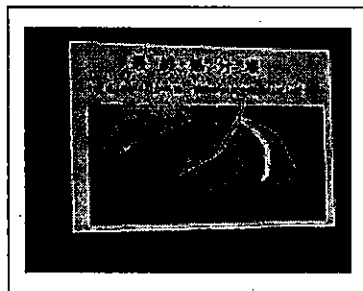
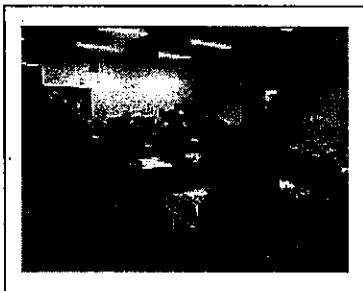
A 健康センターを建設したが、利用者が少なく取り壊した。

#### (5) まとめ

秋田市環境総合センターは、新興住宅に隣接しているが後発の団地なので特に苦情らしいものはないようである。また、地元会長も地元の数十人もリサイクルセンターで働いておりそのあたりもうまく回っているように感じた。

処理方式が熔融炉であるので、燃えるゴミの分別が徹底されていなくても最終的にメタルとスラグとほんの少しの焼却残渣の3種類となり、ほとんどが資源として利用される。また、最終処分場にいく残渣も少ないので、最終処分場も長期間の使用が可能となっている。

建設費用とランニングコストの合計が、他処理方式施設とほぼ同費用であれば、資源化率と最終処分場の使用可能年数を考えると、かなり有利な処理方式と思われた。現在、盛岡のクリーンセンターはストーカ方式なので、更新にあたっては十分な比較検討を求めていく必要を感じた。



## 盛友会 会派視察 日程表 (R1.11.5~7)

【11月5日 (火)】

盛岡市役所 (8:00) —— (貸切バス 120km) —— (9:45) 湯沢市役所

湯沢市様視察(10:00~12:00)

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号 電話番号:0183-73-2168

- ・ゆざわ発新しい働き方推進事業について
- ・温泉熱や地熱温水の利活用事業について

(昼食: 湯沢市内)

湯沢市内 (13:00) —— (貸切バス 125km) —— (15:30) ホテル

《宿泊》 コンフォートホテル山形 〒990-0039 山形市香澄町1-3-12 Tel: 023-615-4122

【11月6日 (水)】

ホテル (10:20) —— (貸切バス 1.5km) —— (10:25) 山形市「gura」

山形市様視察(10:30~11:30)

〒990-8540 山形市旅籠町2丁目1番41号 gura (ぐら) Tel:023-674-0943

(議会事務局) 〒990-8540 山形市旅籠町2丁目3番25号 Tel:023-642-8404

- ・旅籠町にぎわい拠点「gura」について(現地視察)

(視察後施設内のレストランで昼食)

山形市「gura」 (12:30) —— (貸切バス 210km) —— (16:00) ホテル

《宿泊》 ダイワロイネットホテル秋田 〒010-0921 秋田市大町2-2-41 Tel: 018-883-0500

【11月7日 (木)】

ホテル (9:50) —— (貸切バス 1.5km) —— (9:55) 秋田市役所

秋田市様視察①(10:00~12:00)

〒010-8560 秋田市山王1丁目1番1号 秋田市役所本庁舎5階 電話番号:018-888-5784

- ・新庁舎建設事業について

(昼食: 秋田市内)

秋田市様視察②(13:30~15:30)

〒019-2614 秋田市河辺豊成字虚空蔵大台滝1-1 電話番号:018-839-4816

- ・秋田市総合環境センターについて(現地視察)

秋田市総合環境センター (15:35) —— (貸切バス 105km) —— (17:30) 盛岡市役所

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1. 11. 22
------	-------	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	1,400	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	1,400	円
<b>【支払概要】</b> <u>市政調査会視察 (11/22~26)</u> タクシー代 (自宅~盛岡駅)		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 000001号  
 2019年11月22日06:27  
 乗車料金

¥1400円

立替金 円

(現金・チケット・クーポン)  
 上記の通り正に領収致しました。

(株) ふるさと交通

盛岡市手代森16-23  
 TEL019-696-5745

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.12.5
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	202,980	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	202,980	円

【支払概要】	項目	金額(円)
市政調査会 R1.11.22~26 台湾花蓮視察	JR（盛岡⇄浜松町）乗車券・特急券	29,820
	モノレール（浜松町⇄羽田空港）乗車券	1,000
	航空運賃	57,000
	空港諸税および利用料、サーチャージ	13,040
	宿泊費 @11,000 円 × 4 泊	44,000
	朝食代 @2,000 円 × 4 日	8,000
	現地交通費	26,120
	添乗員・通訳費用	24,000
	合計	202,980

領収書等添付欄	□ 別紙に添付
---------	---------

# 領収証

BC-00032216  
発行日 2019/12/05

小笠原 秀夫 様

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

**金額** ¥202,980.-

上記金額を正に領収いたしました  
但し、市政調査会視察旅費

- 現金 202,980 円
- 小切手
- 振込
- クレジット
- その他( )

名鉄観光サービス株式会社  
(本社所在地)  
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印

BC-025822



## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月23日(土)
参加者	小笠原秀夫、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾花蓮縣花蓮市 ・花蓮県議会表敬訪問ならびに議場、歴史資料館見学
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b> 花蓮県議会を表敬訪問。挨拶等の後、議場や県議会歴史資料館を見学。花蓮県議会議員の定数は33人で、うち13人が原住民、同じく13人が女性議員。</p> <p><b>【所感】</b> 花蓮県議会議員の皆様には、歓迎していただき、深く感謝申し上げます。今回の友好都市締結を機に今後ますますの盛岡市と花蓮県花蓮市の交流を期待いたします。 台湾には数多くの原住民族が暮らしており、多様な文化が存在します。我々日本とは異なる文化に触れ、国際交流の大切さを改めて考えました。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月24日(日)
参加者	小笠原秀夫、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾花蓮縣 ・農業関連施設視察① 花蓮観光糖廠(花蓮光復製糖工場)
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b></p> <p>当施設は、台湾に派遣された新渡戸稲造により設立の「台湾製糖株式会社」(当時の名称。現、台湾糖業公司)の一部門。</p> <p>施設内の「花糖文物館」(歴史館)には、新渡戸稲造の胸像が設置。台湾の製糖業振興に対する取り組みや、シュガートレインなどとともに、新渡戸の功績が顕彰されている。</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>台湾という異国の地において、盛岡の先人である新渡戸稲造が台湾の産業振興に貢献し、台湾の方々に尊敬されていることに深い感動を覚えました。</p> <p>アジアの発展のために尽力した新渡戸稲造は盛岡市民として誇りに思います。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月24日(日)
参加者	小笠原秀夫、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾花蓮縣 ・農業関連施設視察② 舞鶴茶園公主珈琲
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b></p> <p>舞鶴は台湾の中でも有数のコーヒーの産地。約100年前の日本統治時代に、日本人によってコーヒー栽培が広められた。</p> <p>戦後はこの地域で茶葉栽培も開始。緑茶、烏龍茶、密香紅茶などの栽培を行っている。</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>この舞鶴茶園の近くにある公園に北回帰線標誌公園があるが、北回帰線から北側が亜熱帯、南側が熱帯である。台湾は熱帯・亜熱帯に属する地域で機構は一年中温暖である。このような気候がコーヒー栽培・茶葉栽培に適しているということである。</p> <p>気候・地域によって適する農作物があるように、台湾では美味しい林檎は栽培できない。そういった意味で、盛岡・花蓮相互の特産物の交流も今後活発にしていきたいと思いました。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月25日(月)
参加者	小笠原秀夫、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾台北市 ・台湾観光協会訪問、意見交換
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b> 台湾観光協会を訪問し、観光資源としての雪景色、ロケ誘致、教育交流、美食による訴求等に関する意見交換を行った。</p> <p><b>【所感】</b> 台湾観光協会では、今後の盛岡・台湾の交流についての活発な意見交換が行われました。毎年数多くの台湾人が日本を訪れていて、その数なんと480万人にもなるそうです。その台湾人観光客に盛岡市が選ばれるために何をすべきか?という議論がされましたが、台湾で毎年開催される「美食展」に出展するのが効果的では?との意見がありました。やはり、旅行の目的の大きな部分を占めるのが「食」であることから、台湾の方に盛岡の「食」を紹介する機会を数多く作る必要だと感じました。</p>
<b>【添付資料】</b>	参加者により共同作成した報告書

## 【市政調査会台湾・花蓮市視察報告書】

### <<日 程>>

令和元年 11 月 22 日（金）～11 月 26 日（火）

### <<市政調査会>>

会長	天沼 久純議員	鈴木 俊祐議員
	高橋 重幸議員	菊田 隆議員
	竹田 浩久議員	藤澤 由蔵議員
	櫻 裕子議員	浅沼 克人議員
	田山 俊悦議員	大石 仁雄議員
	小笠原秀夫議員	加藤 麻衣議員

### 【花蓮市の概要】

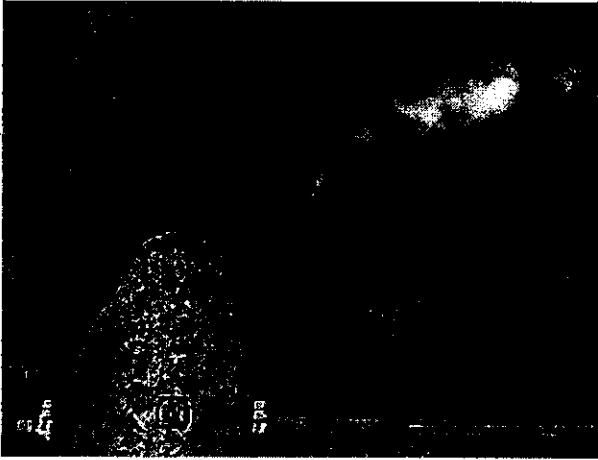
1. 沿革 花蓮市は台湾花蓮県の県轄市。花蓮県政府の所在地。日本統治時代の 1920 年に花蓮港庁花蓮港支庁花蓮港街として再編され、1937 年に郡制施行により花蓮港庁花蓮郡に属する。1940 年に市制施行により花蓮港市になる。戦後の 1946 年に花蓮市と改称されて現在に至っている。
2. 人口 約 106 千人
3. 位置 北緯 23 度 58 分 東経 121 度 36 分  
東京（羽田）から首都台北まで飛行機で約 3 時間 30 分  
台北から特急列車で約 2 時間
4. 気候 平均最高気温 26.8 度 最低気温 20.7 度 年間降水量 2,157mm
5. 姉妹都市 蔚山広域市（韓国）、与那国町（沖縄県）、アルバカーキ（アメリカ）、ベルビュー（アメリカ）、オウツフルン（南アフリカ共和国）
6. 友好都市 高千穂町（宮崎県）、サンタマリア（フィリピン）、サイパン市（アメリカ）  
盛岡市
7. 主要産業・観光・政府関係

花蓮県、花蓮市の主要産業は、観光ならびに石材業。大理石の産地が近隣に所在する。

花蓮は、1622 年にスペイン人が来航して砂金の採取を行った歴史がある。漢人が初めて入植したのは 1851 年であるが、当時は台湾東部への交通は海路に限られており、それは日本統治時代の 1932 年に臨海道路（現・蘇花公路）が開通するまで続いた。その当時は、多くの日本人移民がこの地に入植していた。1945 年以降は中華民国により領有されて花蓮県が設置され、現在に至っている。

### 【花蓮市の主な観光スポット】

- 太魯閣溪谷（タロコ溪谷）… 花蓮郊外にある峡谷。山々がそびえる雄大な自然保護公園
- 阿美文化村 … 華やかな民族衣裳をまとった原住民族「阿美族」の男女が踊りを披露する
- 東大門夜市 … 花蓮最大の夜市
- 七星潭（チーシントン）… 東海岸に位置し、弧を描いた海岸線が優美
- 松園別館 … 旧日本軍により建造された、和洋折衷の瀟洒な建物



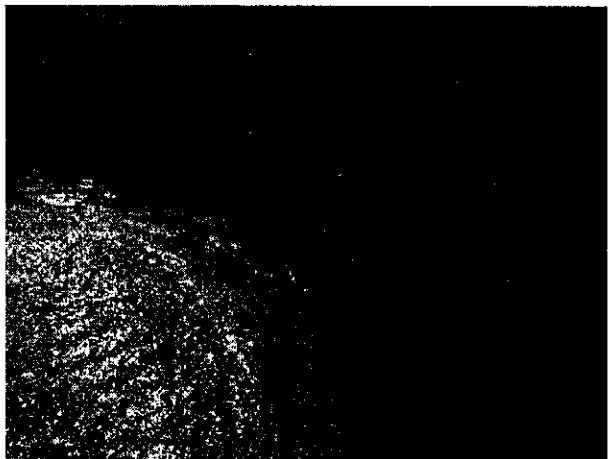
太魯閣溪谷の石碑と山肌



阿美文化村の舞踊



東大門国際夜市の賑わい



七星潭の海岸線



松園別館の日本家屋

【11月22日（金）】

○花蓮県政府主催歓迎レセプション

<夕食会参加者>

—花蓮関係者—

花蓮県長 徐榛蔚 氏

花蓮市長 魏嘉賢 氏

花蓮県関係者他、多数

—盛岡関係者—

盛岡市長 谷藤裕明 氏

盛岡市議会議長 遠藤政幸 氏

盛岡市議団 12名

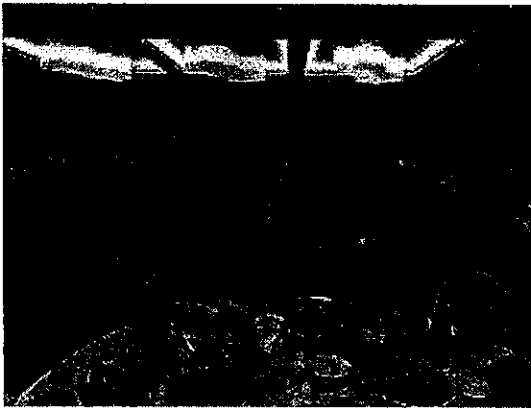
盛岡山車推進会、盛岡市消防団、盛岡市コンベンション協会他、多数(約140名)

<概要>

台北の空港から花蓮市までバスで4時間以上かかり、開始は夜8時半を回っていた。開会前に高校生によるパワフルな民族舞踊の披露。開会后、まず花蓮県長から歓迎の挨拶があり、次に盛岡市長から御礼の挨拶。盛岡市議会議長からも御礼の挨拶。その後、台風19号被害に対して花蓮県からの盛岡市への御寄付と、花蓮県から盛岡市の各団体へ記念品の贈呈。盛岡市の各団体から花蓮県に記念品の贈呈後、乾杯の発声。盛岡市議団のテーブルには花蓮県職員と観光関係者と通訳者が同席し、積極的に交流をした。閉会は夜11時頃となった。



ホテル玄関での大歓迎



花蓮県関係者と意見交換



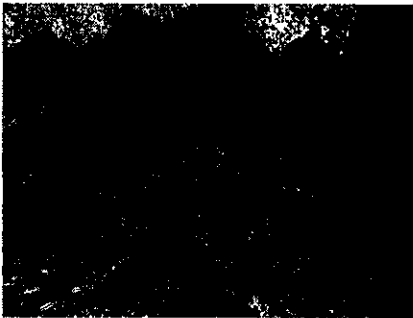
花蓮県長を前に遠藤議長の挨拶

【11月23日(土)】

○タロコ国立公園見学

タロコ国立公園とは台湾の国立公園で、台湾中部に位置する花蓮県の山部にある。南北に約38km、東西に約41km、総面積は9万2000ヘクタールに及ぶ。まずは公園内にあるタロコ溪谷を見学した。この溪谷は台湾を代表する景勝地の一つ。花蓮県を流れる立霧溪(たつきりけい)という川が、1,000mを超える厚さの大理石を侵食し続けた結果、壮大なタロコ溪谷を生み出した。川には大小さまざまな大理石が転がっていたが、国立公園のため拾って持ち帰ることはできない。

タロコ溪谷の見どころの一つが燕子口(イエズーコウ)。岩の壁に開いた小さな穴を指す。昔の人が穴の近くでツバメがたくさん飛んでいるのを見て、この穴をツバメの巣と思ったことに由来する。燕子口の近くにはインディー・ジョーンズの横顔に見える岩もあった。



タロコ溪谷上流



燕子口



インディー・ジョーンズ

タロコ溪谷を見学後はレストラン「タロコ三月村」へ。レストランスタッフは全員タロコ族の方。甘くて黄色い芋が入ったご飯や、台湾タイの塩焼きなど、タロコ族の料理を振る舞っていただいた。レストランには先住民タロコ族に関する展示品がたくさんあった。印象的だったのは先住民の写真コーナーにあった「彩虹民族」という言葉。ガイドに聞くと、「山奥にいる民族ではなく、鮮やかな虹を一番近くで見ることができる民族」という意味とのこと。原住民の価値観に触れることができた。



タロコ族の料理



写真コーナー



○盛岡市主催観光プロモーション

<参加者>

—花蓮関係者—

花蓮縣長 徐榛蔚 氏

マスコミ関係者他、多数

—盛岡関係者—

盛岡市長 谷藤裕明 氏

盛岡市議会議長 遠藤政幸 氏

岩手中央農業協同組合長 浅沼清一 氏

盛岡市議団 12名、盛岡市職員他、多数

<概要>

はじめに谷藤市長が挨拶。台風19号の義援金に対するお礼などを述べた。その次に遠藤議長が挨拶し、その後花蓮県長の徐榛蔚氏より挨拶。「りんごは平安と言う意味がある。花蓮にりんごが来るということは、平安がくるということ。花蓮市に盛岡のりんごと平和が広がると思う。」と述べた。岩手中央農業協同組合長の浅沼清一氏が挨拶した後、浅沼氏から花蓮県県長の徐榛蔚氏にりんごが入った箱が手渡された。



谷藤市長の挨拶



りんご贈呈

○花蓮県議会表敬訪問

<参加者>

—花蓮関係者—

花蓮県議長他 県議員多数、県職員等

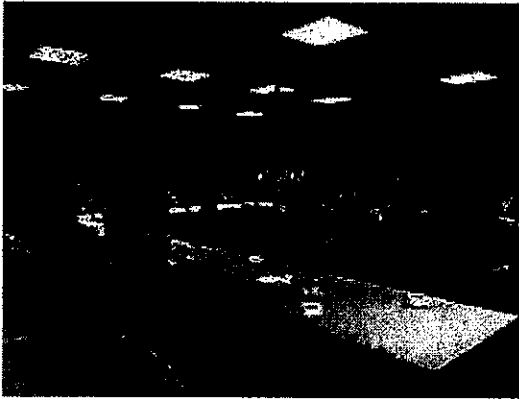
—盛岡関係者—

盛岡市議団 12名、市職員等

<概要>

花蓮県議会を表敬訪問。花蓮県には市議会がないため、県議会を訪問した。会議室に通された後は、花蓮県議会議員と盛岡市議会議員一人一人の名前を紹介。その後花蓮県議長から歓迎のご挨拶を頂き、遠藤議長も挨拶。プレゼントを交換し合った後は、議場や県議会の歴史資料館を見学した。議場の議員の

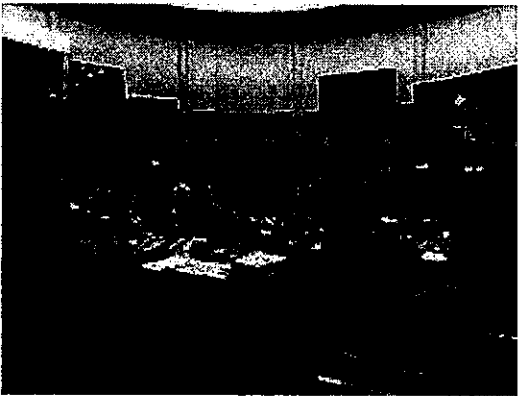
席には資料や私物等が置いてあった。ちなみに花蓮県議会議員の定数は33人で、そのうち13人が原住民、同じく13人が女性とのこと。改選して女性議員が増えたそう。



自己紹介タイム



議場



議員のデスク



議長席前にて集合写真

## ○盛岡山車パレード

### <概要>

「2019 太平洋温泉花車フェスティバル」のメイン会場である東大門広場に花蓮県内外の多くの人々が集まった。45組の花車パレードチームの中で、通算4回目となる盛岡山車が最後尾で参加。パレードは、東大門広場をスタートし、中山路→中正道→花蓮文化創意産業パーク→中華路→中山路までの約4キロのコースを練り歩いた。その中で盛岡市の芸術文化のPRと共に花蓮市民との交流を行った。

### <詳細>

午後5時のオープニングセレモニーでは、さんさ踊りや澤目獅子踊りが披露された。谷藤盛岡市長や花蓮県長のあいさつにより祭りの火ぶたは切って落とされ、豪華絢爛な花車が次々にスタート。

盛岡山車チームは大トリで、午後7時頃パレードを開始。台湾全土から集まった多くの観光客のほか、花蓮市民は、我々を熱烈に歓迎し、沿道からは大きな声援と、時にはハイタッチを受けながら、友好的な雰囲気の中パレードは進んでいった。

途中、雨が降り出してきて、山車にビニールシートをかけたが、参列者はびしょ濡れになりながら進ん

でいった。そのような中、花蓮の皆さんは雨が降っても人出が衰えることなく、最後までパレードを盛り上げてくれた。

閲覧席のある花蓮文化創意産業パーク付近では、大雨の中、谷藤盛岡市長、遠藤盛岡市議会議長、花蓮県長などが出迎え、音頭上げを披露し、パレードを締めくくった。

その後、スタート地点である東大門広場まで戻って閉会行事。最後は花火大会でフェスティバルの幕を閉じた。この時点で午後10時過ぎとなり、ホテルに戻り夕食をとったのは午後11時頃であった。



盛岡山車



花蓮県長と共にパレード

【11月24日(日)】

○友好交流都市盟約調印式

<参加者>

—花蓮関係者—

花蓮県長 徐榛蔚 氏

花蓮市長 魏嘉賢 氏

花蓮市民代表、花蓮観光関係者、花蓮市職員他、多数

—盛岡関係者—

盛岡市長 谷藤裕明 氏

盛岡市議会議長 遠藤政幸 氏

盛岡市議団 12名

盛岡山車推進会、盛岡市消防団、盛岡市コンベンション協会、盛岡市職員他、多数

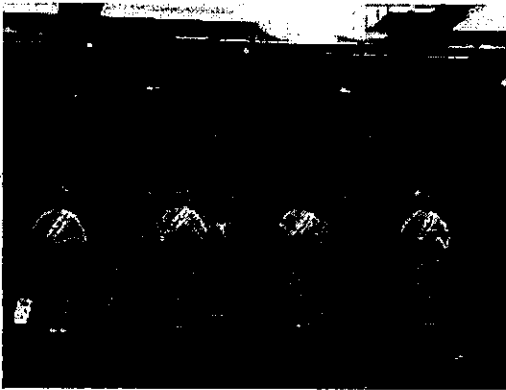
<概要>

花蓮パークビューホテルにて、約120人の出席のもと、盛岡市と花蓮市の友好都市盟約調印式が行われた。はじめに、台湾ではおめでたい場で披露されるという太鼓のパフォーマンス、中華獅子の演舞が披露され、和やかな雰囲気の中、調印式は開会された。徐榛蔚花蓮県長の立会いのもと、谷藤裕明盛岡市長と魏嘉賢花蓮市長は交流協定の盟約書を取り交わし、これからの末永い友情と交流を誓って固い握手をした。調印式の終了後は、会場を移し記念レセプションが行われた。レセプションでは盛岡さんさ踊りが披露され、ミスさんさ踊りとさんさ太鼓連の華麗な踊りが、おめでたい席に華を添えた。



盟約書の取り交わし

調印式会場にて集合写真



記念レセプションでさんさ踊り披露

#### ○花蓮視察（4か所）

##### ①花蓮観光糖廠（花蓮光復製糖工場）見学

###### <新渡戸稲造の功績>

台湾を領有した頃の日本は、砂糖消費量の大部分を輸入に頼っていた。そこで第4代台湾総督の児玉源太郎と民政長官の後藤新平は、植民政策の中心を産業振興に置き、その中心に糖業奨励を推進することにして、台湾に新式製糖会社を設立することを企画した。その立役者になったのが、新渡戸稲造である。新渡戸は台湾総督府の技師として赴任し、1900年12月に「台湾製糖株式会社」を設立するに至った。同社は、台南県橋仔頭庄に台湾最初の新式機械製糖工場を建設し、1902年1月に操業を開始した。台湾製糖の設立をきっかけとして1903年12月に塩水港製糖株式会社も設立された。

新渡戸の努力によって発展した台湾の製糖会社は、45年日本の敗戦によって大きく様変わりし、台湾における台湾製糖、塩水港製糖、大日本製糖、明治製糖の4社は、その資産を中華民国政府によって接収され、46年5月に合併されて台湾糖業公司として設立した。台湾糖業公司は50年代から60年代にかけて、大量の砂糖製品を輸出し、大企業に成長した。台湾糖業公司は現在でも台湾最大の地主であり、農場を中心に台湾各地に広大な土地を所有している。通称「台糖」と呼ばれ、台湾における歴史ある企業として今も活動している。

この花蓮観光糖廠には、「花糖文物館」という歴史館があるが、そこには新渡戸稲造の胸像が設置され、殖産興業の要として、台湾での製糖業振興に対する取り組みや、シュガートレインなどとともに、

新渡戸の功績が顕彰されている。



歴史館入口



新渡戸稲造胸像前にて

<日本家屋が点在する宿泊エリア等>

入口を入っていくと、整然と列をなした日本式建築が並んでいる。かつては職員用宿舎であったが、これにリノベーションを施し、2011年から「台糖花蓮旅館」として運営されている。

整然と並んだ大規模な木造建築群は、古きよき時代の和やかな雰囲気包まれている。内部は、まさに日本家屋であり、玄関、障子、ふすま、押入れ、畳部屋など、日本家屋の風合いそのものである。

このほか、遊園地、フードコート、お土産ショップなどがあるなど、全体として一大リラクゼーションエリアを形成している。



日本家屋の佇まい



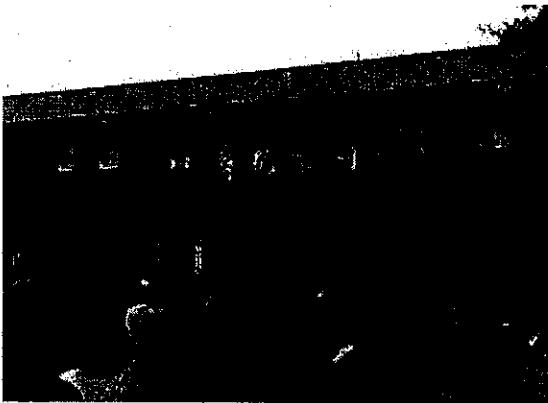
日本家屋前にて集合写真

②舞鶴茶園公主珈琲

<コーヒー産業と茶業>

花蓮縣政府の紹介による現地視察として、精糖工場跡からバスで 30 分程移動し、舞鶴茶園公主珈琲を訪問した。舞鶴は台湾の中でも有数のコーヒーの産地として知られている。その歴史は約 100 年前、日本の統治時代に、日本人によってコーヒー栽培が広められたとのこと。農園には 100 年前のコーヒーの古い木もあった。また、コーヒーの豆となる実を見せてもらった。少し苦みも感じる実をかじると、白いよく見る焙煎前のコーヒー豆を見る事が出来た。統治時代の台湾花蓮と日本、お互いの経緯を超えて、100 年の歴史を感じた。

戦後はこの地域の気候等環境が適しているとのことで、茶葉栽培にも取り組んでおり、緑茶、烏龍茶の茶葉、さらに密香紅茶栽培にも取り組んだとのこと。この紅茶を試飲したが、甘さを感じる紅茶で台湾らしい紅茶であった。日本人にも合う紅茶で、盛岡で花蓮の物産展などが催された時には、ぜひ紹介したい一品であると感じた。



舞鶴茶園公主珈琲の建物入口



珈琲の木

### ③北回帰線標誌公園

舞鶴茶園の近くにある公園に北緯 23.5 度の北回帰線を示す大きな建物、そこから北側が亜熱帯、南側が熱帯とのこと、観光客が多く訪れる公園で、きれいに整備されていた。残念ながら時間も遅く、薄暗く、立寄る程度であったが、亜熱帯、熱帯との言葉を聞くと、台湾の位置、気候を感じさせられた。

### ④瑞穂春天酒店

台湾有数の瑞穂温泉区、そのホテルで夕食を取った。花蓮自体が台北を始めとした台湾のリゾート地であり、この温泉区はその中でも重要な観光資源であることを実感した。

【11月25日(月)】

○台湾観光協会訪問



<参加者>

—担当者—

秘書長 吳朝彦 氏

副秘書長 ■■■■■ 氏

他、通訳者等

—盛岡関係者—

盛岡市議団 12名

他、通訳者等

<意見交換>

台湾観光協会にて意見交換

Q: 盛岡の冬はとても寒いですが、観光としてどうか。台湾で雪を見られるのか。

A: とても寒いならアウトドア等は難しいだろう。冬でも台湾でならアウトドアは体験できる。なお、3000mを越える山があり、雪は体験できる。

Q: TV番組に取り上げられると人気になる。ロケ誘致に力を入れたいが、どうか。

A: 愛媛県新居浜市では映画観光として、自然や食べ物を台湾の映画館で宣伝。日本の地方都市は台湾観光局に積極的にPRしている。

Q: 台湾から日本への観光客と、日本から台湾への観光客の倍くらいの数の差があるが、どの様に捉えているか。

A 台湾人 2300 万人中、1600 万人が海外に旅行する。2018 年は 480 万人が日本に行く。原因は、距離が近く、飛行機の便が多い。日本との歴史が深い。年配者は日本語ができる。日本は治安が良い。交通の便が良い。美味しい食べ物が多い。などが上げられる。一方、196 万人が日本から台湾へ旅行しているが、1 億 2000 万人の人口があるのもっと人数を増やしたい。問題は、飛行機の座席が少ない。パスポートの所有率が 24%と低い。また、台湾が日本の観光を学ぶべきで、地方での観光への力の入れ方がまだまだ足りない。なお、八田与一など日本人の偉業として残されている遺跡があり、日本の学生がそれらを学習できる。

Q: 教育交流のように、若い時期の交流体験は有意義と思われるが、如何か。

A 実際、中学生が相互の都市を行ったり来たりしており、将来的に大きな効果があるだろう。友好都市となって、教育交流で農業体験やスポーツ体験など可能性がある。

Q: 東京、京都のように盛岡が選ばれる観光地となるには。

A: 盛岡市への楽しいイメージを作ること。台湾にイベントが沢山あるが、美食展に出展するのもよい。貿易センタービルで、7月下旬から8月上旬まで開催し、36万人が集客できる。盛岡りんごの宣伝も大きな効果があるだろう。

Q: 台北で10月にLGBTパレードに17万人が集まった。それによる経済的な影響や観光面での効果は。

A: 今年、同性でも結婚できることになった。アジアで初めて立法化。このパレードは総合的要素があり、プラスとマイナスの効果がある。台湾が自由、平等で民主的な国であることを知らしめ、それにより台湾に行ってみたいと思わせるプラスの面がある。マイナスの面ではそういうことを受け入れない人もいるということ。いずれにしろ、歴史的にヒューマンライツを重視しているのが台湾である。

○台北視察 (3か所)

### ①中正紀念堂

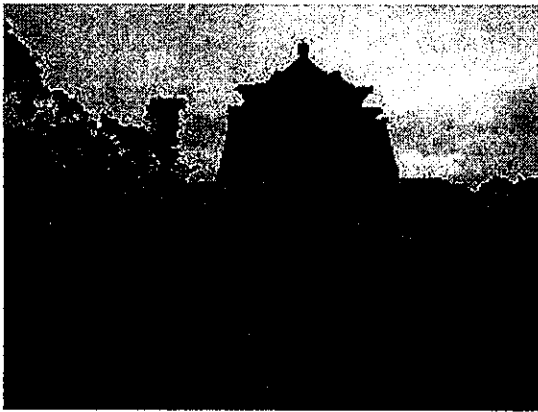
蒋介石の業績を讃えるメモリアルホール。建物は花蓮の大理石でできている。蒋介石の戦後における日本に対する姿勢や関わりは政治家として多くの示唆を与える。その偉大さを実感できる施設であった。

### ②忠烈祠

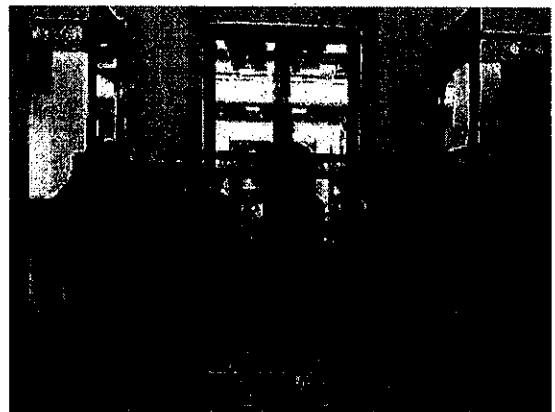
抗日戦争や辛亥革命(1911)などで殉死した英霊を祀る場所。勇壮な衛兵の交代式を見れば、国や故郷を守るため厳しい訓練を積み重ねている様子をうかがい知ることができる。

### ③故宮博物院

中国歴代の王朝が収集した多くの宝物を展示。台湾の歴史や文化から、台湾国民の価値観がよく分かる。また、花蓮が世界的にも有数の石の産地であり、古い歴史を持つことを知った。また、歴史的に見て、ものづくり産業全体の職人の技術力の高さに驚く。



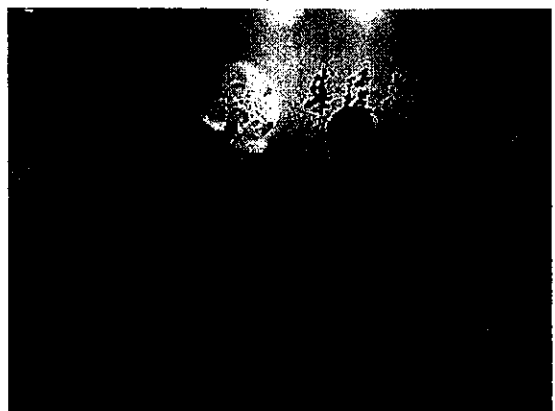
中正紀念堂



中正紀念堂で解説



忠烈祠での交代式



故宮博物院で解説



【視察日程】

令和元年11月22日(金)～11月26日(火) 4泊5日

月 日	時間	行程
① 11/22 金	6:30	盛岡駅南口集合
	7:10発	はやぶさ4号→東京駅乗りかえ羽田空港着
	12:15	国際定期便にて台北松山空港へ 貸し切りバスで花蓮市へ移動
	20:00	花蓮縣歓迎レセプション 〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル
② 11/23 土	午前	ホテルにて朝食
	14:00	タロコ国立公園見学
	夕方	盛岡山車パレード参加 〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル
③ 11/24 日	11:30	ホテルにて朝食
		友好交流都市盟約調印式
		記念レセプション
	13:30	
		東大門夜市・太平洋花彩節参加
		〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル
④ 11/25 月		台北市へ移動
	13:30	
	14:30	
		市議会議員団故宮博物館見学、夕食交流会 〈台北市内泊〉
⑤ 11/26 火	朝	ホテルで朝食
	午前	ホテル発
	昼	国際定期便にて帰国 羽田空港着
	16:33	盛岡駅着

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R2.2.3
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	3,218	円
支出按分率（※按分が必要な場合）	12分の1	
政務活動費支出金額	268	円

<p>【支払概要】</p> <p>視察先手土産</p> <p>対象議員12名で按分</p> <p>268円×12名=3,216円</p> <p>対象議員</p> <p>竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、中野孝之助</p> <p>千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄、小笠原秀夫</p>	<p>盛友会 R2.2.5~7 うるま・那覇行政視察</p> <p>※ 領収書原本は大石議員保管</p> <p>※ 端数2円は大石議員に加算</p> <p>※ 参加議員のうち遠藤政幸議長は本件按分対象外</p>
--	---

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R2.2.5
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	1,480	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	1,480	円

<p>【支払概要】</p> <p>盛友会 R2.2.5~7うるま・那覇視察 タクシー代 (自宅~盛岡駅)</p>		
--	--	--

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

計算書

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 128号

2020年02月05日07:01

乗車料金  
¥1480円

立替金  
円

(現金・チケット・クーポン)

(株)ふるさと交通

盛岡市手代森16-23  
TEL019-696-5745

政務活動費支払伝票


使途項目	調査研究費	支出日	R2.2.7
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	4,760	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	12分の1	
政務活動費支出金額	397	円

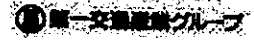
【支払概要】 盛友会 R2.2.5~7 うるま・那覇行政視察  
 タクシー代 (ホテルパームロイヤル那覇⇒那覇空港)  
 対象議員12名で按分 ※ 領収書原本は大石議員保管  
 397円×12名=4,764円 ※ 端数4円は大石議員から減算  
 対象議員 ※ 参加議員のうち遠藤政幸議長は本件按分対象外  
 竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、中野孝之助  
 千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄、小笠原秀夫

領収書等添付欄  別紙に添付

領 収 書  
 No. 2708  
 日付 2020年02月07日  
 車番 0149 0000  
 基本運賃 ¥1,610円  
 合計 ¥1,610円  
 上記の様に領収致しました

※毎度ご乗車ありがとうございます。  
  
 タクシー御用命 (24時間営業)  
 那覇市内 TEL 853-7801  
 那覇市内と周辺のいたるところを配車区域として無練車をご利用をお待ち致しております。  
 沖縄県那覇市識名3丁目6番17号  
 鏡原第一交通株式会社  
 TEL 833-4784

領 収 書  
 No. 2147  
 日付 2020年02月07日  
 車番 0193 0000  
 基本運賃 ¥1,610円  
 合計 ¥1,610円  
 上記の様に領収致しました

※毎度ご乗車ありがとうございます。  
  
 タクシー御用命 (24時間営業)  
 那覇市内 TEL 853-7801  
 那覇市内と周辺のいたるところを配車区域として無練車をご利用をお待ち致しております。  
 沖縄県那覇市識名3丁目6番17号  
 鏡原第一交通株式会社  
 TEL 833-4784

領収書  
 毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 302号  
 2020年02月07日  
 乗車料金 ¥1540円  
 立替金 円  
 上記の通り正に領収致しました。

鏡原第一交通  
 〒902-0078  
 沖縄県那覇市識名3-6-17  
 電話098-833-4784  
 お忘れ物やご要望がありましたら上記のTELまでご連絡下さい

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R2.2.7
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	1,820	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	1,820	円

【支払概要】

盛友会 R2.2.5~7うるま・那覇視察  
タクシー代 (盛岡駅~自宅)

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書

(クレジットカード支払)

No.9593

日付 '20年02月07日

車番 000203 000

メータ運賃 ¥1820円

合計金額 ¥1820円

ご乗車ありがとうございます。  
お忘れ物・お気付きの点は…

**(株)ヒノヤタクシー**

岩手県盛岡市中央通1丁目8-18

☎0120-53-1551

<http://www.hinoya-taxi.co.jp/>

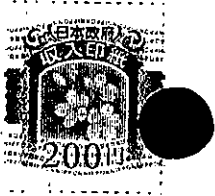
2007.05.1.000

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R2. 2. 14
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	116,583	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	116,583	円
【支払概要】 盛友会 R2. 2. 5~7 うるま・那覇行政視察	項目	金額(円)
	JR (盛岡⇄浜松町) 乗車券・特急券	29,820
	モノレール (浜松町⇄羽田空港) 乗車券	1,000
	羽田空港 → 那覇空港	23,150
	那覇空港 → 羽田空港	14,115
	貸切バス	17,148
	うるま市宿泊	15,950
	那覇市宿泊	14,300
	企画画料	1,100
	合計	116,583

領収書等添付欄	□ 別紙に添付
---------	---------



AB No. 205265

お客様コード [REDACTED] 2020年2月14日  
DATE

領 収 証 RECEIPT

RECEIVED FROM 小笠原 秀夫 様

領 収 金 額 THE SUM OF ¥ 116,583-

但し FOR 視察旅費として

上記金額正に領収致しました  
The above sum has been duly received.



※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	✓ (2020年1月29日)
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社  
盛岡支店  
〒020-0022 盛岡市大通1丁目11-13  
TEL 019-651-8800

## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

会派名	盛友会
実施日	令和2年2月5日(水)
参加者	小笠原秀夫、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、中野孝之助、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、遠藤政幸、長岡利明、大石仁雄、計13名
視察先および調査項目	沖縄県うるま市 ・うるま市友好都市連携事業について
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b></p> <p>友好都市盟約締結後の文化、物産、教育などの交流事業に関する意見交換。特に子どもたちの交流の将来にとってインパクトが大きいとの意見。ほか、今後は行政職員の人事交流も有効との意見。</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>盛岡市とうるま市が平成24年7月31日に友好都市提携が結ばれ、7年が経過した。この間当会派盛友会はほぼ毎年、うるま市に視察等で訪れ交流を深めてきた。今後も継続して交互に訪問し、交流を絶やさないようにしなければと感じました。中学生の交流事業では、盛岡市・うるま市の中学生が友情を深め、非常に大きな成果をあげている。教育的交流に加え、お祭りなどの文化的交流や役所間での人事交流なども検討し、さらなる交流の強化を具体的に推し進める必要があると思いました。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視 察 等 概 要 書

議員氏名 小笠原秀夫

会派名	盛友会
実施日	令和2年2月6日(木)
参加者	小笠原秀夫、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、 櫻裕子、中野孝之助、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、 長岡利明、大石仁雄、 計12名
視察先および 調査項目	沖縄県うるま市 ・うるま市スポーツ推進計画について
視察の概要 および所感	<p>【視察概要】</p> <p>本計画は、「スポーツ基本法」に基づく、地域スポーツ推進計画。生涯・競技スポーツおよびスポーツを通じた地域活性化を総合的かつ計画的に推進していくための指針として策定した。特徴点は以下の2点。</p> <p>①2部の連携体制 … 経済部と教育委員会が連携。</p> <p>②地の利を活かした営業体制 … プロ野球球団キャンプ等を誘致。</p> <p>【所感】</p> <p>うるま市のスポーツ推進は、温暖な気候からプロスポーツチームのキャンプ地として誘致を進めている。プロスポーツ選手を小中学校に招聘することによりスポーツへの関心を高めたり、参加のきっかけとなるよう取り組みがなされている。また、経済部と教育委員会が連携してスポーツを迫伸している点に特徴がある。盛岡市においても、グルージャ盛岡や岩手ビッグブルズというプロスポーツチームがあるので、連携を強化し、スポーツへの参加と健康増進に取り組むべきだと思いました。うるま市で行われている「あやはし海中ロードレース」は20年以上の歴史があり、市民ボランティアのさんかなど、いわて盛岡シティマラソンの運営においても参考とすべき点が多数あった。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書



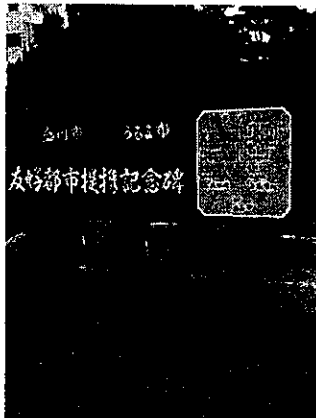
## 視察等概要書

議員氏名 小笠原秀夫

会派名	盛友会
実施日	令和2年2月6日(木)
参加者	小笠原秀夫、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、 中野孝之助、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄 計12名
視察先および 調査項目	沖縄県那覇市 ・議会運営について 一般質問の方式について タブレットの導入と議会活動での活用、議場での運用について
視察の概要 および所感	<b>【視察概要】</b> 1. 議場見学 2. ヒアリング (1) 一般質問の形式について 一括質問・一問一答とも、質問15分以内、答弁含み30分以内。 (2) タブレット端末の活用について 議場・委員会室双方使用可。個人所有タブレットも議長に届出を すれば使用可能。 <b>【所感】</b> 那覇市の一般質問の持ち時間は一括質問・一問一答どちらも15分間で 答弁時間を含め30分以内となっている。また、毎回ほぼ前議員が質問 を行い、質問回数は全国トップクラスである。このような活発な議会の 根源は質問時間にあるのではないかと思いました。タブレット端末 の活用についてもすでに3年目に入っており、議場内はもちろん、議会 の外でも活用され、成果をあげている。盛岡市でも早期の導入・活用 が望まれる。
<b>【添付資料】</b>	参加者により共同作成した報告書

## うるま市議会視察（意見交換会）報告書

- 1 日時 令和2年2月5日（水） 16時から17時
- 2 場所 うるま市役所全員協議会室
- 3 視察（意見交換会）項目  
盛岡市・うるま市友好都市連携事業について
- 4 対応者 うるま市議会 幸地 政和議長 他議員9名（6会派の議員）  
うるま市役所 議会事務局 長峰 斉事務局長 他3名
- 5 意見交換
  - (1) うるま市議会 幸地政和議長挨拶
  - (2) 盛岡市盛友会 竹田浩久幹事長挨拶
  - (3) 盛岡市・うるま市友好都市連携事業のこれまでの概要説明
  - (4) 意見交換
    - ・ 昨年の中学生交流事業の中学生の感想文の発表（浅沼議員）
    - ・ 子供と商工会の交流を長く継続することを望む。  
予算等の位置付けをしっかりと市長に要望したい。（うるま市中村議員）
    - ・ 中学生の感想に感動した。継続を望む。盛岡市のさんさ踊りの取り組みに感心する。両市の職員の人事交流を望む。（うるま市仲本議員）
    - ・ うるま市に来ていただいて感謝する。6年くらい盛岡に行っていないので、是非お邪魔したい。夏はうるま市、冬は盛岡市での交流を考えたい。（うるま市平良議員）
    - ・ カーリングの体験を望む。（うるま市喜屋武議員）
    - ・ 盛岡からの宿泊は民泊を検討しては。（うるま市金城議員）
    - ・ 盛岡からの視察は当会派だけなので、他の会派にも声を掛けていきたい。（盛岡市菊田議員）



## うるま市視察報告書

1. 日時 ・ 令和2年2月6日(木) 9:30~11:00
2. 場所 ・ うるま市議会第一委員会室
3. 視察項目 ・ うるま市スポーツ推進計画について
4. 対応者 ・ うるま市経済部観光振興課  
課長 松岡 秀光氏 副技幹兼係長 [REDACTED]氏  
担当 [REDACTED]氏 担当 [REDACTED]氏  
・ うるま市教育委員会生涯学習振興課  
課長 新里 禎規氏 係長 [REDACTED]氏  
担当 [REDACTED]氏

### 5. 視察内容

#### (1) 推進計画策定の背景および趣旨

- ・ 2011年(平成23年)に制定された「スポーツ基本法」に基づく、地域スポーツ推進計画として策定した計画。
- ・ うるま市における生涯・競技スポーツおよびスポーツを通じた地域活性化を総合的かつ計画的に推進していくための指針として策定した。

#### (2) スポーツ推進に関する課題

- ・ 当市のスポーツ習慣は、沖縄県平均よりも高いが、全国平均を下回っている。  
※ 1年間で1日当たり30分以上の運動やスポーツを行った者の割合  
当市~42.1%、全国~51.5%  
※ 特に、30代~40代の実施率が他年代より低い。加えて、小中学生の体力状況は、全国平均および沖縄県平均を下回っている。
- ・ 社会体育施設についても老朽化しているほか、施設内での相談やアドバイス機能も弱い状況。
- ・ スポーツの産業化についても、他の産業との連携融合が弱く、地の利を活かし切れていない。

#### (3) スポーツを通じた健康増進と地域活性化の実現

- ・ 本計画は、①市民の健康づくり、②子どものスポーツ機会の拡充、③スポーツを通しての地域活性化、④スポーツ環境基盤の整備、の4つを基本方針として、12の基本施策と、35の施策展開を掲げて推進することとしている。
- ・ 目標指標は、以下の3点(2018年対2028年)
  - 週1日以上運動を実施している成人の割合 ~ 42.1% ⇒ 65%
  - 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ~ 沖縄県平均以上に引き上げ

○スポーツコンベンション開催件数 ～ 10件 ⇒ 後期5年で75件

(4) スポーツ推進に関する特徴点

① 経済部と教育委員会が連携

・経済部がスポーツ行政を所管し、生涯学習については教育委員会で担当する。

⇒ スポーツによる地域活性化を目的として推進

・例えば、韓国プロ野球チームや高校野球チームのキャンプを誘致

⇒ 市内での宿泊、市内での飲食を推進、その他のサービスも市内で提供

⇒ 盛岡大附属高校もキャンプの実績あり

② 地の利を活かした営業体制

・プロ野球球団などは、場所や気候の優位性ゆえ、施設があれば興味を示す

・この状況に対し、施設の売り込みを中心に営業活動を行っている

6. 質疑応答

Q：2部署の連携について、ネックになっていることがないか。

A：当市の観光振興の中で、スポーツによる観光振興の重要性が高いとの認識から、本計画の推進にあたって、当初から経済部と教育委員会が連携して実行する体制とした。

⇒ 横断的な協議を行う会議体として「行政経営会議」を設置

⇒ 生涯学習は教育委員会、プロスポーツは経済部

Q：スポーツ推進に関する当市独自の取り組みは、どのようなものか。

A：プロスポーツの選手を小中学校に招聘することを通して、スポーツへの積極参加のキッカケとなるように取り組んでいる。一方、「地の利、気候の利」がまだ十分に活かしきれていない。まだまだやることがありそうである。

Q：「あやはし海中ロードレース」に関する評価と課題は。

A1：県外ランナーの誘致がまだまだ弱い状況。一方で、安全面を考えると、現在の8,500人が限度であり、そのレベルの参加者で歯止めをかけている状況である。

A2：本大会の総事業費は3,800万円。うち市の負担額は380万円。

A3：市民ボランティアについては、開催地である旧与那城町内の各自治会が中心となって対応している。

Q：うるま市のマラソンを選んでもらうための工夫は。

A：開始以来20回の実績があり、「4月に行うハーフマラソン」というイメージが定着してきたことが大きい。ただし、最近は4月でも暑すぎる、との意見もあり、実施時期の見直しも迫られている。 ⇒ 令和2年は3月22日に開催予定

7. まとめ

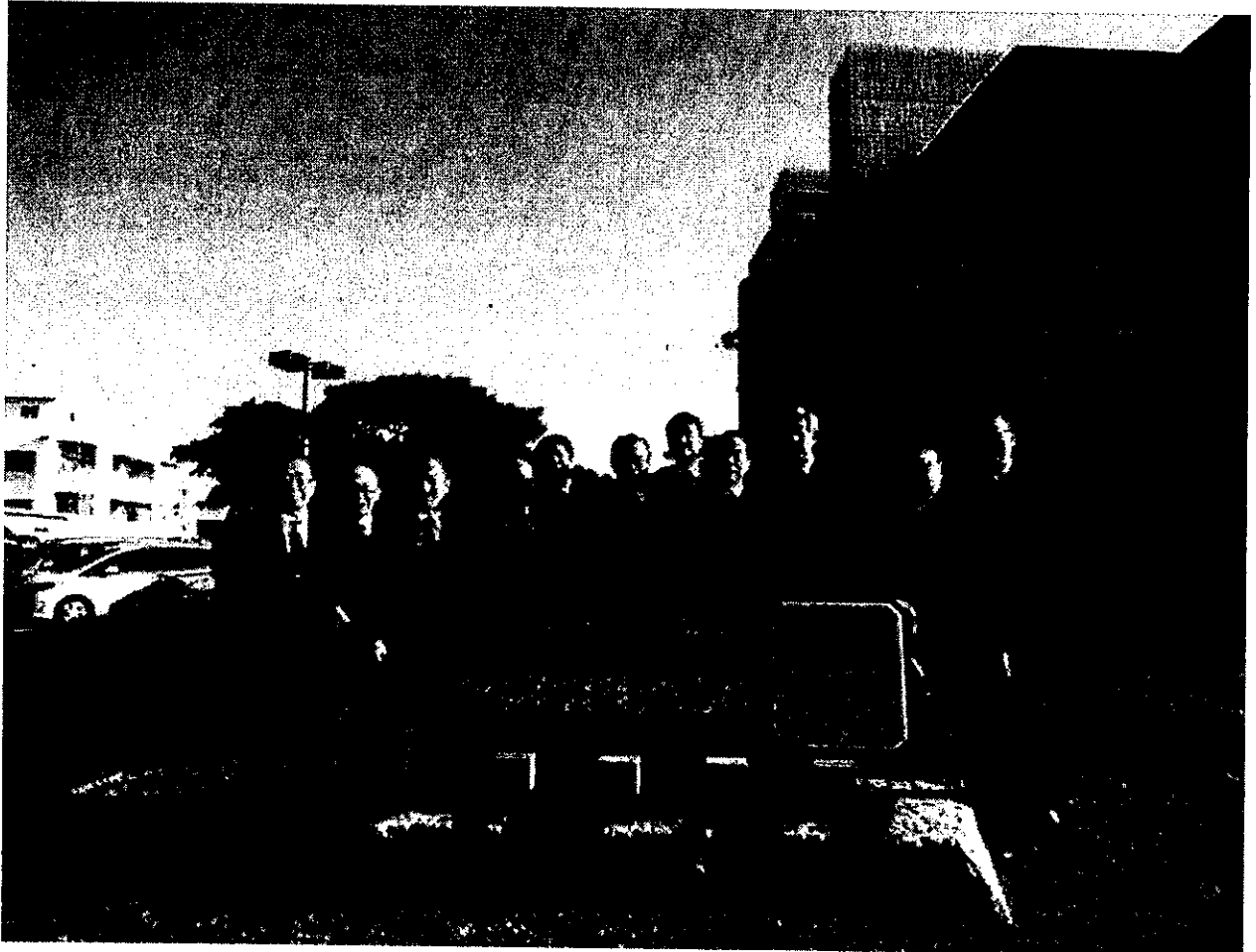
うるま市のスポーツ推進計画は、若年層や働き盛りの層のスポーツ習慣を高めること

に加え、スポーツを通じた経済活性化を目指すということから、経済部が所管しつつ、教育委員会と二部署が連携して取り組む体制としていることが大きな特徴点である。加えて、地の利と気候の利を活かして、プロスポーツチームや学生チームのキャンプ地としても優位性があるということが、スポーツ推進にあたっての追い風となっている。

しかしながら、施設の老朽化対策、相談・アドバイスを行う専門人材の育成が、推進のネックになっていることから、施設改修を段階的計画的に推進していくことや、人材育成が今後の大きな課題である。また、スポーツイベントの目玉である「あやはし海中ロードレースは、次回が開催 20 回目ということもあり、相当に定着してきた感があるが、昨今の気候変動を受けた開催時期の見直しを行うところであり、他都市との競合にも考慮しながら、これをどのように定着させるかが、新たな課題となっている。

スポーツを通しての健康増進と経済活性化との双方を目的としている当市の基本思想は、盛岡においても共通の課題であり、今後の大きな参考となるものである。





## 視察報告書

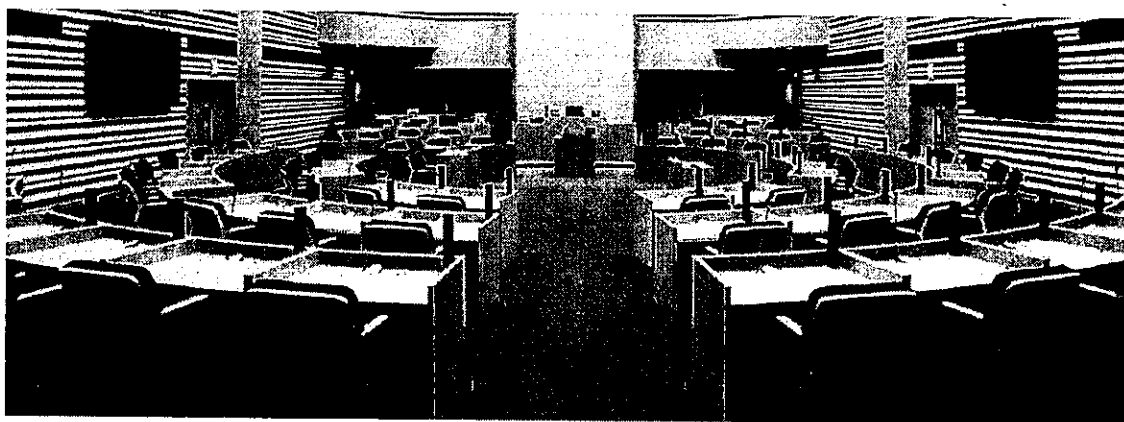
文責 小笠原秀夫

- ① 日時 令和2年2月6日(木)
- ② 沖縄県那覇市 那覇市役所
- ③ 視察項目 ・議会運営について(一般質問形式・タブレット端末の活用)
- ④ 対応者 那覇市議会 ・上原快佐議員 ・新垣淑豊議員  
議会事務局 ・主幹 徳永周作氏 ・主任主事 ████████氏

### ⑤ 概要

#### (1) 議場について・・・上原議員より説明

那覇市議会の議場は全国的にも珍しい「円形議場」である。質問席は2か所あり、どちらを使用してもよいことになっている。議場壁面には100インチの大型モニターが設置されていて、写真等を使用しての一般質問が可能となっている。このモニターには議案に対する議員の賛否を表示するようになっている。



#### (2) 議会改革の取り組みについて・・・新垣議員より説明

##### ①一般質問形式について

那覇市議会では議会質問が活発で、質問回数は全国トップクラスである。毎回ほぼ全議員が代表質問または一般質問を行っている。質問時間は一括質問・一問一等どちらも15分間で答弁時間を含め30分以内となっており、盛岡市の一括質問時間の半分の時間である。

##### ②タブレット端末の活用について

那覇市では平成28年4月よりタブレット端末の導入・運用が開始されている。議場・委員会室にかかわらず使用可能となっており、貸与以外の個人所有のタブレット端末も議長に届出をすれば使用可能である

### ③質疑応答

Q1. 使用基準について、細則やマニュアルはあるのか。

A1. 使用基準が主で他には設けていない。

Q2. 情報機器使用申請書とは貸与された以外の機器を使用する際に提出するものか。

A2. はい、その通りです。自己所有などの端末を利用する際に申請していただきます。

Q3. 情報機器使用申請書は携帯電話やパソコンも申請できるか。

A3. 基本的に議場内に携帯電話、パソコンの持ち込みは禁止となっている。

Q4. パワーポイント等でプレゼン形式での質問は可能か。

A4. 現在、議論中。

現時点では事前に議長に資料の許可を得て議員に操作してもらう状態のため、今のところは実施していない。

Q5. 他の議会では画像を議事録に載せているところもあるようだが、那覇市ではどのように扱っているのか。

A5. 議事録には載らない。

インターネット中継で動画配信をしているので、それで拝聴は可能となっている。

Q6. 資料『那覇市議会の議会 ICT 化（タブレット端末導入）について』の 6 頁の削減効果にファクシミリ貸借料等の記載があるが、貸出があるのか。

A6. 以前は貸与があったが、昨今はほぼない。

しかしファクシミリ電話回線基本料は市で負担している。

Q7. Q6 に関連してですが、Q2 の情報機器使用申請書にて許可された端末機器を使用する際の費用はどうなるのか。

A7. 端末代金、基本使用料とも実費となります。

Q8. タブレット端末使用にあたり、議員のスキルアップ研修会の頻度はどのくらいか。

A8. 運用当時は年 2 回。今年度で 4 年目となるが、現在は年 1 回実施。



Q9. タブレット端末はリースなのか。

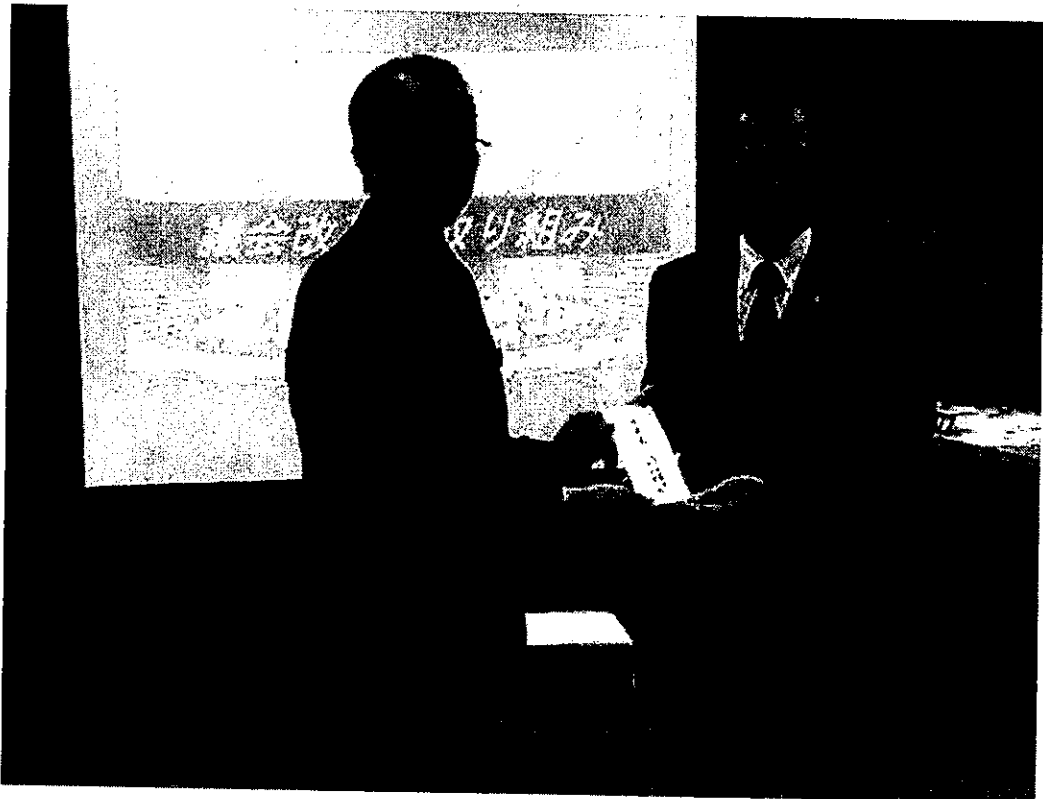
A9. リースになるので、任期满了の際は返却となる。任期が伸びる場合は引き続き使用できる。

Q10. 答弁書もペーパーレスで事前に紙面で確認できないのか。

A10. 那覇市ではそのような形式ではとっていない。

Q11. タブレット端末導入の運用中に議会以外の使用（自宅に持ち帰って使用等）にて、問題点や課題などはないのか。

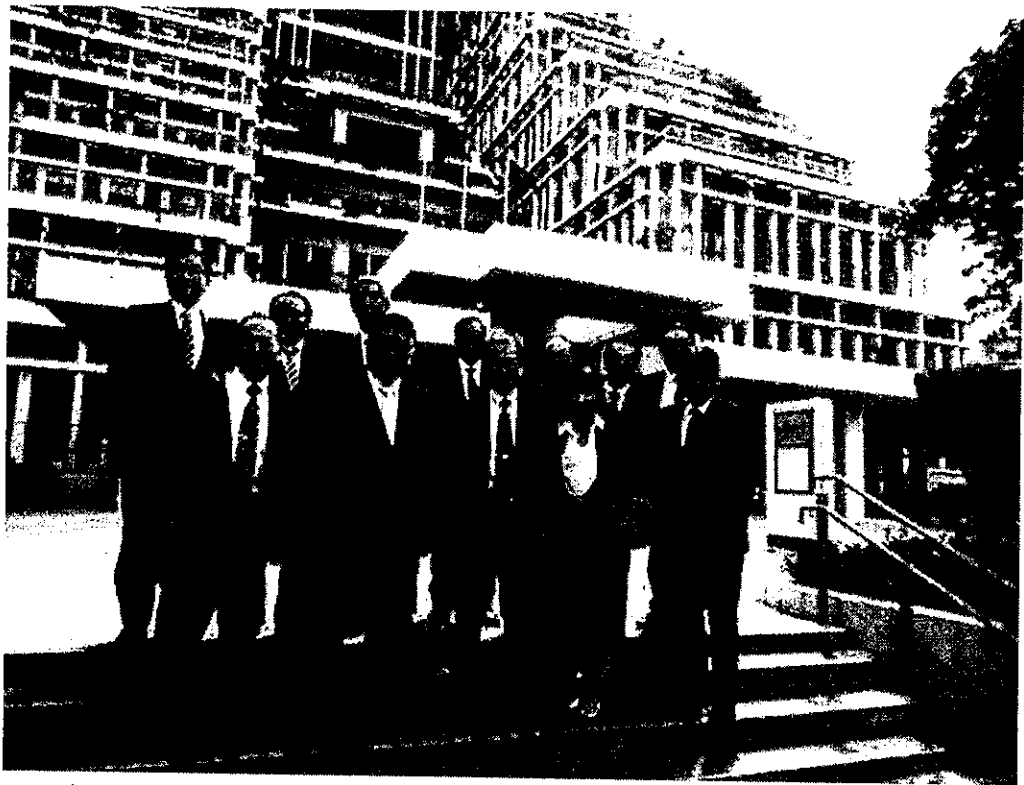
A11. キャリア（au）との回線契約の際に、紛失、盗難の際は端末検索や遠隔操作でロックをかけることができるようセキュリティには万全を期している。また、コンピュータウイルスについても強固なセキュリティ対策をしている。そのため現時点では 情報漏洩などの問題は起きていない。



沖縄・那覇のシンボル「首里城」の再建を願い、竹田幹事長より寄付金を贈呈。



議会改革とタブレットについて説明する上原議員と新垣議員



那覇市役所の前にて

盛友会 会派視察 日程表 (2.2.5~7)

【2月5日(水)】

盛岡駅 (7:36) —— (はやぶさ6号) —— (9:47) 東京駅  
 東京駅 (9:54) —— (京浜東北線) —— (9:59) 浜松町駅  
 浜松町駅 (10:08) —— (モノレール) —— (10:29) 羽田空港第2ターミナル  
 羽田空港 (11:30) —— (ANA471便) —— (14:35) 那覇空港  
 (昼食：機内で各自)  
 那覇空港 (14:50) —— (借り上げバス) —— (16:00) うるま市役所

うるま市視察①(16:00~18:00)

◆盛岡市・うるま市友好都市連携事業について(うるま市議会議員との意見交換会)

《宿泊》 ココガーデンリゾートオキナワ

〒904-1115 沖縄県うるま市石川伊波501 TEL:098-965-1000 FAX:098-965-2262

【2月6日(木)】

宿泊先 (9:00) —— (借り上げバス) —— (9:30) うるま市役所

うるま市視察②(9:30~11:00)

〒904-2292 うるま市みどり町一丁目1番1号

◆うるま市スポーツ推進計画について  
 スポーツ振興と観光分野での連携について  
 あやはし海中ロードレース大会の運営について

うるま市役所 (11:00) —— (借り上げバス90分) —— (12:30) 那覇市内  
 昼食場所 (13:30) —— (借り上げバス) —— (14:00) 那覇市役所

那覇市視察(14:00~16:00) 〒900-8585 沖縄県那覇市泉崎1丁目1番1号 TEL:098-862-8194

◆議会運営について  
 一般質問の方式について  
 タブレットの導入と議会活動での活用について 議場での運用について

那覇市役所 (16:00) —— (借り上げバス) —— (16:20) 宿泊先

《宿泊》 ホテルパームロイヤル那覇 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-9-10

TEL. 098-865-5551 FAX. 098-866-7711

【2月7日(金)】 9:30ロビー集合

ホテル (9:50) —— (タクシー) —— (10:30) 那覇空港  
 那覇空港 (11:25) —— (ANA462便) —— (13:45) 羽田空港  
 (昼食：機内)  
 羽田空港第2ターミナル (14:23) —— (モノレール) —— (14:47) 浜松町駅  
 浜松町駅 (14:50) —— (京浜東北線) —— (14:58) 東京駅  
 東京駅 (15:20) —— (はやぶさ27号) —— (17:33) 盛岡駅

政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R1. 11.15	10,000 円	市政調査会拠出金	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	10,000 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	R1. 11. 15
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	10,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	10,000	円
【支払概要】 盛岡市市政調査会拠出金		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

<table border="1"><tr><td>領 収 書</td></tr></table>	領 収 書
領 収 書	
小笠原 秀 夫 様	
一金 10,000円 也	
令和元年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。	
令和1年11月15日	
盛岡市市政調査会 会長 天 沼 久 純	
